



CAMBRIDGE

English

Cambridge

English Qualifications

# B1 Preliminary for Schools

教師用ハンドブック  
2020年改訂版

B1 Preliminary  
for Schools



# CAMBRIDGE

## English

### Cambridge

English Qualifications

# Your path to learning English, step by step

[cambridgeenglish.org/qualifications](https://cambridgeenglish.org/qualifications)



Pre A1 Starters

A1 Movers

A2 Flyers

A2 Key  
for schools

B1 Preliminary  
for schools

B2 First  
for schools

C1  
Advanced

C2  
Proficiency

# ハンドブックを最大限に活用する

ハンドブックを最大限に活用するには、デジタル版をご利用いただくのが最適です。デジタル版はより定期的に更新されます。

デジタル版にはリンクが掲載されており、詳細を知りたい場合は関連ページに直接移動できます。例えば、「タスク」セクションでリーディング問題のパート1についての内容を読み、リンクをクリックすると、リーディングパート1のタスク例に直接移動できます。便利なウェブサイトやリソースへのリンクもあります。

## タスク

「タスク」のページには、試験形式と、問題の各部分でテストされる内容に関する情報が掲載されています。

## 学習者の受験準備

「学習者の受験準備」のページには、学習者の受験準備にあたっての先生方の支援・指導に関する情報とアドバイスがあります。役立つウェブサイトへのリンクもありますので、そちらでさらに資料や教材をご覧ください。学習者が試験当日に能力を最大限に発揮できるようにするための、おすすめの試験対策が見つかります。

ケンブリッジ大学英語検定機構について	4
B1 Preliminary for Schools – 概要	5
試験サポート	6
試験について	7

## 試験問題サンプル

「試験問題サンプル」セクションには、4つの分野それぞれのサンプル問題と、リーディングとリスニングの分野の解答が掲載されています。ライティングとスピーキングの問題については、評価基準に関する情報があり、また、ライティングについては、先生方が参照、あるいは学習者とともに活用するための解答例があります。

## Paper 1: リーディング

タスク	9
学習者の受験準備	10
試験問題サンプル	15

## Paper 3: リスニング

タスク	39
学習者の受験準備	40
試験問題サンプル	45

## Paper 2: ライティング

タスク	22
学習者の受験準備	23
試験問題サンプル	26

## Paper 4: スピーキング

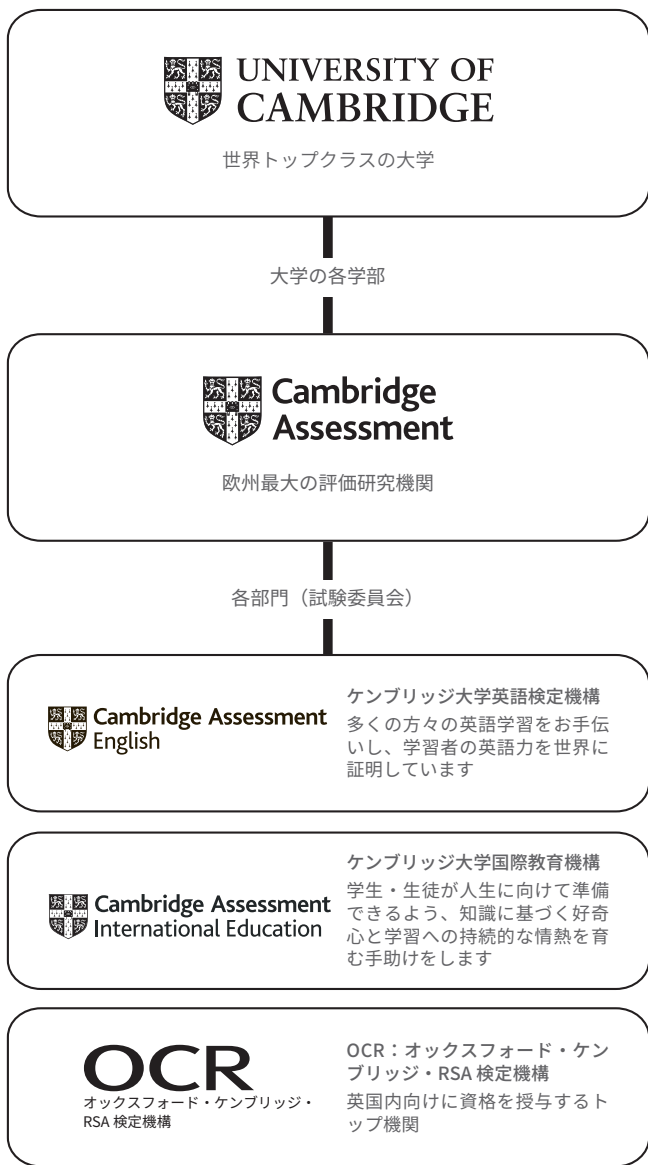
タスク	55
学習者の受験準備	56
試験問題サンプル	62
言語仕様	70
用語集	73

# ケンブリッジ大学英語検定機構について

私たちケンブリッジ大学英語検定機構（Cambridge Assessment English）は、ケンブリッジ大学の一部門であり、多くの方々の英語学習をお手伝いし、学習者の英語力を世界に証明しています。

ケンブリッジ大学英語検定機構にとって、英語を学ぶという事は単に試験を受ける、良い成績を収めるというだけではありません。自信を持ってコミュニケーションを図り、生涯にわたり、充実した経験や機会を得ることです。

私たちは世界 130 カ国以上で検定と試験を実施し、その受験者は年間 550 万人以上に上ります。



## Cambridge

### English Qualifications

ケンブリッジ英語検定は、英語学習を楽しく、効果的で、達成感のあるものにする、綿密で徹底した測定を実施する検定試験です。

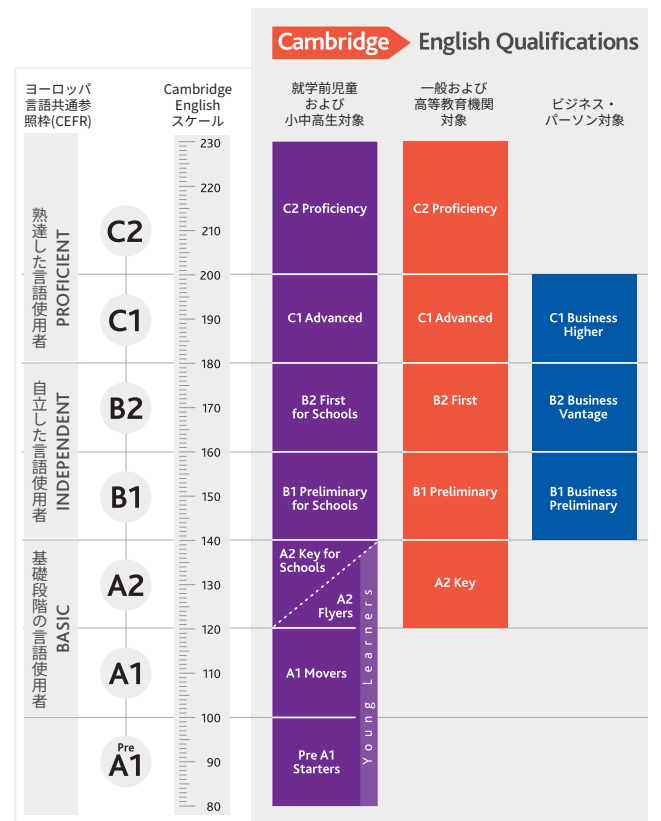
私たち独自のアプローチは、語学力向上のための明確な道のりを示して、継続的な進歩を促します。検定はそれぞれ、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のレベルに対応しており、学習者がスピーキング、ライティング、リーディング、リスニングの各技能を身につけ、向上させていくことができるようにします。

ケンブリッジ英語検定は、効果的な指導と学習に関する研究に基づいています。英語を学習し、実世界での実践的スキルを向上させるモチベーションを学習者の年齢や能力に関係なくもたらします。

- ケンブリッジ英語検定には、以下を対象とした試験があります。
- 就学前児童および小中高生
  - 一般および高等教育機関
  - ビジネス・パーソン

学習者が自分の国または海外での生活、仕事、または勉強についてどのようなことを計画していたとしても、ケンブリッジ英語検定の資格は学習者が成功するための英語スキルを持っていることを証明します。

ケンブリッジ英語検定とCEFRの詳細については、[cambridgeenglish.org/cefr](http://cambridgeenglish.org/cefr) をご覧ください。



# B1 Preliminary for Schools – 概要

B1 Preliminary for Schools は、実用的な日常英語スキルの中級レベルの資格です。A2 Key から1段階進んだレベルであり、学習者にとっては、B2 First などのより高いレベルのケンブリッジ英語検定受験に向けて勉強する自信につながります。

## 試験形式

B1 Preliminary for Schools は、ペーパー版またはコンピューター版のいずれかの形式で受けることができます。

## 試験対象者

B1 Preliminary for Schools は、次の能力を示したい学生を対象としています。

- 簡単な教科書や記事を英語で読む
- 日常的な話題についてメールを書く
- 事実に基づく情報を理解する
- 英語の話し言葉と書き言葉で意見や気持ちに対する理解を示す

## ケンブリッジ英語検定を認定している機関

B1 Preliminary for Schools 認定証は、産業界の職、事務的な職、サービス業に従事するための中級レベルの英語スキルの証明として世界中で認められています。また、学習を目的とした幅広い教育機関にも受け入れられています。

ケンブリッジ英語検定は世界中の何千もの組織に受け入れられ、信頼されています。認定機関情報の詳細については [cambridgeenglish.org/recognition](http://cambridgeenglish.org/recognition) をご覧ください。

## 試験のレベル

B1 Preliminary for Schools は CEFR のレベル B1 を合格目標としています。

この中級レベルの認定を取得すると、受験者が英語の基礎を習得しており、日常的に使用するための実用的な言語スキルを現時点で持っていることが証明されます。

## 結果ステートメント

結果ステートメントには、受験者の次の内容が記載されます。

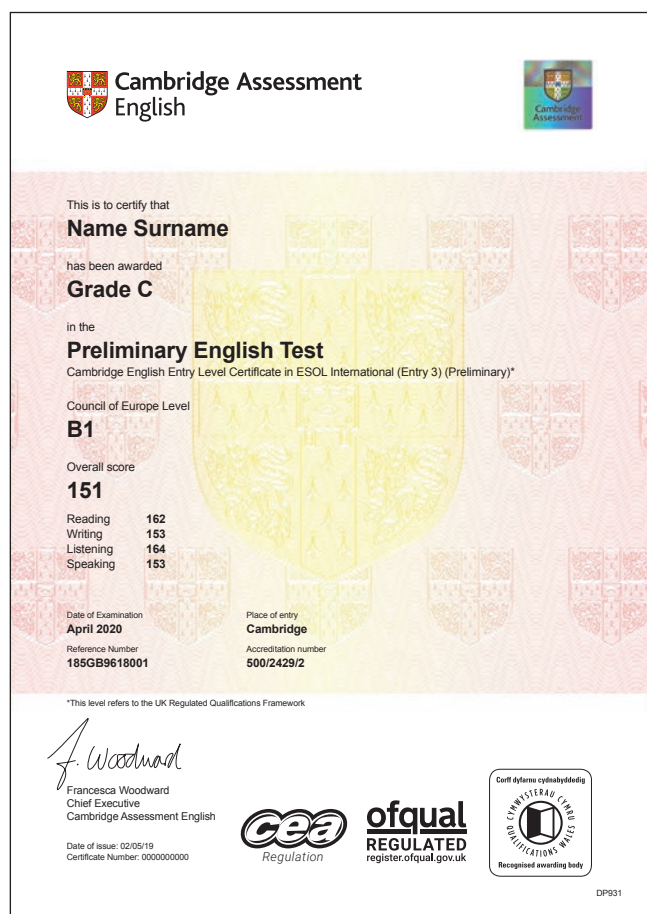
- 言語の4技能別（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の Cambridge English スケールのスコア
- 試験の総合的な結果に関する Cambridge English スケールのスコアこの総合評価スコアは、4技能のスコアの平均です。
- グレード：受験者の総合評価スコアに基づくものです。
- CEFR のレベル：こちらも総合評価スコアに基づきます。

## 認定証

認定証には、受験者の次の内容が記載されます。

- 4技能別の Cambridge English スケールのスコア
- Cambridge English スケールでの総合評価スコア
- グレード
- CEFR でのレベル
- 英国資格指標（NQF：UK National Qualifications Framework）のレベル

学生には B1 Preliminary の受験者と同じ認定証が発行されません。



## 受験上の配慮等

ケンブリッジ英語検定は、すべての受験者に公平であるように設計されています。受験上の配慮等に関する詳細については、[cambridgeenglish.org/help](http://cambridgeenglish.org/help) をご覧ください。

# 試験サポート

## ケンブリッジ英語検定 公式試験対策教材

教師を支援し、学習者の受験準備を手助けするために、ケンブリッジ大学英語検定機構とケンブリッジ大学出版は、コースブックや模擬試験など、さまざまな公式支援教材を開発しています。これらの教材は、印刷形式とデジタル形式の両方をご利用いただけます。

[cambridgeenglish.org/exam-preparation](https://cambridgeenglish.org/exam-preparation)

## 教師向けの支援

ウェブサイトの「英語を教える (Teaching English)」のページでは、ケンブリッジ英語検定試験の準備をするすべての先生方向けに、利用しやすい無料のリソースを提供しています。内容は次のとおりです。

- 一般情報 – 教師用ハンドブック、試験問題サンプル
- 試験の詳細情報 – 形式、各試験時間、問題数、タスクの種類、各試験の採点方法
- 教師へのアドバイス – 学習者のスキル向上、試験対策
- ダウンロード可能なレッスン – 問題用紙全種のすべてのパートに関するレッスン
- 英語教授法認定資格 - 新任教師のための包括的な資格と、より経験豊富な教師のためのキャリア開発
- セミナーおよびウェビナー – 試験に特化したさまざまなセミナーと、新任およびより経験豊富な教師の両方を対象としたライブウェビナーおよび録画ウェビナー
- 教師の能力開発 – 継続的な専門能力開発において教師をサポートするためのリソース

[cambridgeenglish.org/teaching-english](https://cambridgeenglish.org/teaching-english)

## 教師のための Facebook

教師向けの Facebook のコミュニティに参加すると、無料のリソース、アクティビティ、およびケンブリッジ英語検定に向けた学習者の受験準備に役立つヒントを得ることができます。

[facebook.com/CambridgeEnglishTeaching](https://facebook.com/CambridgeEnglishTeaching)

## 受験者への無料サポート

ケンブリッジ英語検定のウェブサイトでは、試験に関するアドバイス、サンプル問題、受験者向けガイド、ゲーム、オンライン学習リソースなど、豊富な試験リソースと試験対策教材・資料を提供しています。

[cambridgeenglish.org/learning-english](https://cambridgeenglish.org/learning-english)

## Facebook

Facebook のコミュニティでは活発な活動が行われており、そこでは学習のための有益な情報を得たり、クイズに参加したり、他の英語学習者と話したりすることができます。

[facebook.com/CambridgeEnglish](https://facebook.com/CambridgeEnglish)

## 受験申し込み

受験申し込みは、ケンブリッジ英語検定認定試験センターを通じて行ってください。

認定試験センターのスタッフは、ケンブリッジ英語検定試験に関するあらゆる最新情報を有しており、次の情報をご案内いたします。

- 申し込み手続きの詳細
- 試験規定のコピー
- 試験日
- 現行の受験料
- B1 Preliminary for Schools とその他のケンブリッジ英語検定の詳細

130 カ国以上に 2,800 を超える認定試験センターがあります。すべての認定試験センターは、試験の運営管理、インテグリティ、セキュリティ、顧客サービスの面で、ケンブリッジ大学英語検定機構の高い基準を満たすことを求められています。最寄りの認定試験センター [cambridgeenglish.org/centresearch](https://cambridgeenglish.org/centresearch) にてご確認ください。

## 詳細情報

お近くの認定試験センターがご質問にお答えできない場合は、ヘルプデスクにお問い合わせください。

[cambridgeenglish.org/help](https://cambridgeenglish.org/help)



# 試験について

B1 Preliminary for Schools は、B1 レベルの厳密かつ徹底した英語力テストです。言語の 4 技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）すべてをカバーしています。

## 言語能力の全領域を網羅するテスト

テスト問題は 4 つのペーパーから成ります。それぞれの詳細については、このハンドブック内で後述しますが、各テストが一般的に焦点を当てる点は次のとおりです。

### リーディング：45 分

受験者は、看板や新聞、雑誌などから要点を理解し、語彙や文構造を正しく使えるレベルに達している必要があります。

### ライティング：45 分

受験者は、メールに返信できる、記事 (article) または物語 (story) を書けるレベルに達している必要があります。

### リスニング：約 30 分

受験者は、発表や日常についての話し合いなど、さまざまな話し言葉を理解できることを示す必要があります。

### スピーキング：12～17 分

スピーキングテストは、別の受験者 1 名とペアで、または 3 名のグループで行います。試験官と受験者、受験者間、そして自分自身のみといった、さまざまなやり取りに加わる能力についてテストされます。

4 つの試験分野はそれぞれ、受験者のこのレベルにおける総合的なコミュニケーション言語能力を定めるプロフィールの形成に役立ちます。

## 得点と結果

B1 Preliminary for Schools では、詳細で有意義な結果が提供されます。

	合計試験時間	タスク／パートの数	設問数
<b>B1 Preliminary for Schools</b>			
リーディング	45 分	6	32
ライティング	45 分	2	–
リスニング	約 30 分	4	25
スピーキング	12～17 分	4	–
合計	合計約 2 時間 12 分		

すべての受験者に**結果ステートメント**が発行されます。CEFR A2 レベルと B2 レベル (Cambridge English スケールのスコア：140-170) の成績を有する受験者には、認定証も発行されます。

### グレード A：Cambridge English スケール 160–170

受験者が B1 レベルを上回る能力を示すこともあります。受験者がグレード A で合格すると、CEFR レベルの B2 レベルの能力を証明したことを示す Preliminary English テストの認定証が発行されます。

### グレード B および C：Cambridge English スケール 140–159

受験者がグレード B または C で合格すると、CEFR レベルの B1 レベルを証明する Preliminary English テストの認定証が発行されます。

### CEFR A2 レベル：Cambridge English スケール 120–139

受験者の成績が CEFR レベルの B1 レベルに満たず、A2 レベルの範囲内であれば、A2 レベルの能力を証明したことを示すケンブリッジ英語検定の認定証が発行されません。

## Can Do サマリー

### B1 レベルの受験者の英語能力

ヨーロッパ語学検定協会（Association of Language Testers in Europe、ALTE）は、各 CEFR レベルの語学学習者の一般的な能力を調査しました。Can Do ステートメントを使用し、能力の各レベルを日常生活からの例を用いて説明しました。ALTE の創立メンバーの一員であるケンブリッジ大学英語検定機構は、このフレームワークを使用して、検定試験に実生活での言語スキルが反映されるようにしています。

典型的な能力	リーディングとライティング	リスニングとスピーキング
全般的な英語能力	日常の情報や記事を理解できる。 身近な事柄や予測可能な事柄について手紙を書いたり、メモをとったりすることができる。	わかりやすい指示や公的な発表を理解できる。 抽象的／文化的な事柄について、簡単な意見を限られた方法で述べることができる。
社会生活および旅行	事実に基づく新聞記事、ホテルからの定型的な手紙、個人的な意見を述べた手紙を理解することができる。 自らの経験に関連した、限られた範囲の予測可能なトピックについての手紙を書くことができる。	強い視覚的要素があれば、テレビで放送されるニュースの主要なトピックが何かを把握できる。 宿泊と旅行・移動に関する情報を求めることができる。
学習	自らが学習している領域では、事実に基づく情報の大半を理解することができる。 講義で基本的なノートをとることができる。	教師や講師による授業や課題の指示を理解できる。 簡単な言葉でセミナーやチュートリアルに参加できる。



Paper 1:

45 分

# リーディング タスク

パート	設問数	配点	タスクの種類	受験者に求められること
1	5	5	3つの選択肢からの多肢選択式問題	実社会で使用されるような5つの通知、メッセージ、その他の短文から主要なメッセージを読み取る。
2	5	5	マッチング問題	特定のトピックに関する8つの短文と、人物に関する5つの記述とをマッチングさせ、詳しい情報を読み取る力を示す。
3	5	5	4つの選択肢からの多肢選択式問題	長文を読み、詳細な内容、要点、推論、全体的な意味、書き手の態度や意見を読み取る。
4	5	5	空所のある文章	5つの文が抜き取られた長文を読む。一貫性があり、しっかり構成された文章がどのような形になっているのかを理解していることを示す。
5	6	6	4つの選択肢からなる空所補充問題	短い文章を読み、空所を埋める正しい語（語彙項目）を選択する。補充部分の選択などの文法知識の要素もテストされる。
6	6	6	空所補充問題	短い文章を読み、各空所に1つの語を使用して6つの空所を埋める。文法構造、句動詞、定型表現に関する知識を示す。
合計	32	32		

# 学習者の受験準備

## 先生方へのアドバイス

出題者は、タスクを作成する際、**文法領域の一覧**と**語彙リスト**を使用して、B1 レベル、B1 Preliminary for Schools レベルの学習者に適したタスクになるようにしています。

リーディングのテストで使用されるテキストは、可能な限り現実世界で読まれているテキストから作りかえたものとしています。こうしたテキストには次のようなものがあります。

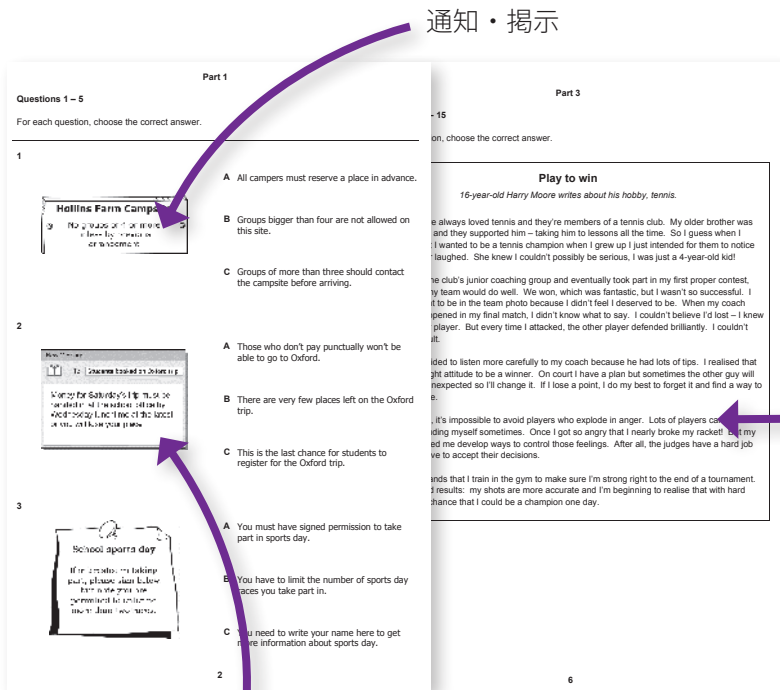
- 通知・掲示や標識 (パート 1)
- パッケージに記載された情報 (パート 1)
- メモ、E メール、カード、テキストメッセージ、はがき (パート 1、5、6)
- 新聞や雑誌 (パート 2、3、4)
- 簡単な百科事典やその他のノンフィクションの本 (パート 3、5)
- パンフレット (パート 2、3)
- ウェブサイト (パート 1、2、3、4、5)

先生方は、テキストを B1 レベルの学習者に適したものに改変する必要があるかもしれませんが、**語彙リスト**と**言語仕様**は、先生方が適切な言語領域を把握するのに役立ちます。なお、語彙リストは毎年更新されます。

保護者の皆さまは、ケンブリッジ英語検定のウェブサイトにある**保護者のための情報ページ**から詳しい情報を入手できます。

学習者の皆さんは、「**受験者情報**」ガイドで詳細をご覧ください。

先生方は、ケンブリッジ英語検定のウェブサイトで、**授業計画**や**試験問題のサンプル**をご覧ください。



通知・掲示

Eメール

記事

## 学習者のリーディング問題対策のヒント

- ✓ 学習者に幅広い種類のテキスト（実際のテキストおよび作りかえたテキスト）を提供するようにします。例えば、ソーシャルメディアのウェブサイト上のメモやメッセージ、情報パンフレット、レベル別に分けられた読み物や記事などがあげられます。
- ✓ 短文と長文の両方のスキミング（斜め読み）とスキヤニング（拾い読み）の練習ができるよう支援します。文章全体を理解するために、常にまずテキストをざっと読む（スキミング）という習慣を身につけるよう学習者を促します。
- ✓ 学習者に、馴染みのない語彙を含むテキストを読む練習をさせ、タスクには重要ではない単語を無視するように学習させます。
- ✓ 学習者に指示を注意深く読むように促します。キーワードをハイライトさせ、例をあげて、何をすべきかを理解させましょう。
- ✓ 学習者が時間を管理する必要がある場合は、時間を定めて、演習や試験タスクの練習を行います。
- ✓ 学習者がテキストを読むさまざまな方法について考えられるように手助けします。例えば、情報パンフレットを読んでいる場合は、具体的な情報を探すように伝えます。メッセージを読む場合は、どのように返信するかを考えさせます。
- ✓ 学習者が、知らない単語の意味をテキストの他の部分から推測できるようにします。知らない単語が出てくるときに辞書を使うことのないように促します。



### 解答用紙の記入

（ペーパー版テストのみ）

- 答えはすべて解答用紙に書かなければなりません。
- 解答用紙への記入には鉛筆を使用しなければなりません。
- 解答用紙に記入するための追加時間は認められていません。つまり、受験者は試験時間 45 分間以内に記入を完了させなければなりません。
- リーディング分野については、パート 1～5 はマークシートの解答用マークを塗りつぶし、パート 6 は解答用紙の該当する箇所に答えを書き込みます。



### コンピューター版テストの入力

（コンピューター版テストのみ）

- 答えはすべてコンピューターに直接入力します。
- 受験者はペンや鉛筆、水のボトルを試験会場に持ち込むことができますが、それ以外は持ち込めません（バッグやあらゆる電子機器を含みます）。
- 受験者は試験監督者の指示を注意して聞き、コンピューター画面の指示に従わなければなりません。
- 受験者はテストの前に短いチュートリアルを見ます。
- 試験の残り時間を示すタイマーが画面上に表示されません。
- 受験者は試験中に紙にメモをとることができます。試験終了時、メモは机の上に置いていかなければなりません。

## リソースへのクイックリンク

### 保護者向け

[cambridgeenglish.org/learning-english/parents-and-children/information-for-parents](https://cambridgeenglish.org/learning-english/parents-and-children/information-for-parents)

- 保護者のための情報

### 学習者向け

[cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation](https://cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation)

- 「受験者情報」ガイド

### 教師向け

[cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation](https://cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation)

- 語彙リスト（トピックリストを含む）
- 無料の教材
- 授業計画

[cambridgeenglish.org/teaching-english/resources-for-teachers](https://cambridgeenglish.org/teaching-english/resources-for-teachers)

言語仕様: 70 ページ

トピックリスト: 72 ページ

# タスク別アドバイス

受験者は授業でこれらの試験対策を定期的に練習する必要があります。

15 ページ以降のタスクをもれなく参照してください。


## リーディング パート 1

Part 1

Questions 1 – 5

For each question, choose the correct answer.

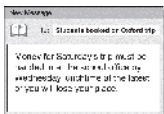
1



**Hollins Farm Campsite**  
No groups of 4 or more unless by previous arrangement.

A All campers must reserve a place in advance.  
B Groups bigger than four are not allowed on this site.  
C Groups of more than three should contact the campsite before arriving.

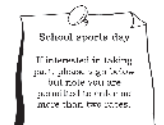
2



**Notice for Students booked on Oxford trip**  
Places for Saturdays & Sundays are limited. The number of places available at the time of booking is limited to 100 places.

A Those who don't pay punctually won't be able to go to Oxford.  
B There are very few places left on the Oxford trip.  
C This is the last chance for students to register for the Oxford trip.

3



**School sports day**  
It is intended to take place on Friday, 10th June. It will involve a number of races and other activities.

A You must have signed permission to take part in sports day.  
B You have to limit the number of sports day races you take part in.  
C You need to write your name here to get more information about sports day.

2

### タスク

- ▶ 本パートでは、受験者に5つの短文が示されます。各短文に対して3つの選択肢 A、B、C がある、多肢選択問題です。

### タスクへのアプローチ方法

- ▶ 受験者は短文を読み、それがどのような状況で用いられているかを判断します。
- ▶ 視覚情報（レイアウト、場所など）を使用すると、文脈の特定に役立てることができます。
- ▶ 次に、3つの選択肢を読みます。
- ▶ 受験者は、答えを選ぶ前に、各文と各選択肢を比較することが必要です。
- ▶ 選んだ選択肢を再度読み直し、意味が一致していることを確認することが重要であることを受験者に説明してください。

### 評価

- ▶ このパートでは、受験者がさまざまな種類の短文を理解しているかどうかをテストします。

## リーディング パート 2


Part 2

Questions 6 – 10

For each question, choose the correct answer.


The young people below all want to do a cycling course during their school holidays. On the opposite page there are descriptions of eight cycling courses. Decide which course would be the most suitable for the people below.

6




Nancy is fourteen and cycles quite well. She needs to learn how to cycle safely from her home to school on busy city roads. She's only free at the weekends.

7




Markus is an excellent cyclist and he wants the excitement of riding on countryside and woodland tracks. He'd also like to learn more about looking after his bike. He can't attend a morning course.

8




Ellie is nine and knows how to ride her bike, but isn't confident about starting and stopping. She'd love to meet other cyclists with a similar ability and have fun with them.

9



Leo can't cycle yet, and wants to learn on his own with the teacher. He'd prefer a course with sessions twice a week. He'd also like some practical information about cycling clothes and equipment.

10



Josh is eleven and a skilled cyclist. He's keen to learn to do exciting cycling tricks in a safe environment. He'd like to be with people of a similar age.

### タスク

- ▶ 受験者には5人の人物の短い説明文が示され、その内容を特定のトピックに関する8つの短文の内の5つとマッチングさせる必要があります。

### タスクへのアプローチ方法

- ▶ 受験者はまず5人についての説明文を読むことから始めます。
- ▶ 次に、8つの文すべてを注意深く読み、人物の説明文の中でこれらと一致している部分に線を引いていきます。
- ▶ その上で、受験者は、その説明文と一致する可能性のある文とを再度比較します。その文が人物の説明文のすべての要件を満たしていることを確認する必要があります。
- ▶ 人物の説明文と選択肢である文との両方に、1～2つのまったく同じ単語が含まれているからという理由で答えを選択しないようにします（「ワードスポッティング」）。そのような方法ではなく、文章全体の意味に焦点を合わせる必要があります。

### 評価

- ▶ このパートでは、受験者が事実を述べている内容を詳細に理解しているかどうかをテストします。

## リーディング パート 3

## Part 3

## Questions 11 – 15

For each question, choose the correct answer.

## Play to win

16-year-old Harry Moore writes about his hobby, tennis.

My parents have always loved tennis and they're members of a tennis club. My older brother was really good at it and they supported him – taking him to lessons all the time. So I guess when I announced that I wanted to be a tennis champion when I grew up I just intended for them to notice me. My mother laughed. She knew I couldn't possibly be serious. I was just a 4-year-old kid!

Later, I joined the club's junior coaching group and eventually took part in my first proper contest, confident that my team would do well. We won, which was fantastic, but I wasn't so successful. I didn't even want to be in the team photo because I didn't feel I deserved to be. When my coach asked what happened in my final match, I didn't know what to say. I couldn't believe I'd lost – I knew I was the better player. But every time I attacked, the other player defended brilliantly. I couldn't explain the result.

After that, I decided to listen more carefully to my coach because he had lots of tips. I realised that you need the right attitude to be a winner. On court I have a plan but sometimes the other guy will do something unexpected so I'll change it. If I lose a point, I do my best to forget it and find a way to win the next one.

At tournaments, it's impossible to avoid players who explode in anger. Lots of players can be negative – including myself sometimes. Once I got so angry that I nearly broke my racket! But my coach has helped me develop ways to control those feelings. After all, the judges have a hard job and you just have to accept their decisions.

My coach demands that I train in the gym to make sure I'm strong right to the end of a tournament. I'm getting good results: my shots are more accurate and I'm beginning to realise that with hard work there's a chance that I could be a champion one day.

## タスク

- ▶ このパートでは、受験者には、意見や態度を表す文章が示されます。A、B、C、Dの4つの選択肢がある多肢選択式問題が5問あります。

## タスクへのアプローチ方法

- ▶ 受験者はまず、文章をスキミング（斜め読み）し、トピックと全体的な意味を把握するところから始めます。
- ▶ それから、文章をもう一度、さらに注意深く読みます。
- ▶ 問題に1問ずつ取り組み、各選択肢と文章を比較してから答えを選択することが重要です。
- ▶ 受験者は、選択した答えを文章に照らして慎重に再確認する必要があります。
- ▶ 問題11、12、13および14は、文章中の情報の順序に従って出題されています。
- ▶ 問題15は全体的な意味に焦点を当てています。

## 評価

- ▶ 受験者は、書き手の態度や意見、あるいは書き手が引用した意見を理解しており、文章の詳細な意味と全体的な意味の両方を理解していることを示す必要があります。

## リーディング パート 4

## Part 4

## Questions 16 – 20

Five sentences have been removed from the text below. For each question, choose the correct answer. There are three extra sentences which you do not need to use.

## Planting trees

by Mark Rothram, aged 13

This spring, our teacher suggested we should get involved in a green project and plant some trees around the school. Everyone thought it was a great idea, so we started looking online for the best trees to buy. [16] If we wanted them to grow properly, they had to be the right type – but there were so many different ones available! So our teacher suggested that we should look for trees that grew naturally in our part of the world. [17] They'd also be more suitable for the wildlife here.

Then we had to think about the best place for planting the trees. We learnt that trees are happiest where they have room to grow, with plenty of space for their branches. The trees might get damaged close to the school playgrounds, for example. [18] Finally, we found a quiet corner close to the school garden – perfect!

Once we'd planted the trees, we knew we had to look after them carefully. We all took turns to check the leaves regularly and make sure they had no strange spots or marks on them. [19] And we decided to check the following spring in case the leaves turned yellow too soon, as that could also mean the tree was sick.

We all knew that we wouldn't be at the school anymore by the time the trees grew tall, and that was a bit sad. But we'd planted the trees to benefit not only the environment, but also future students at the school. [20] And that thought really cheered us up!

## タスク

- ▶ このパートでは、受験者は、5つの文が削除され、それぞれの空所に番号が振られた長文を読みます。文章の後には、A～Hの8つの文が続いて記載されています。受験者はA～Hの中から、欠けている5つの文を探す必要があります。

## タスクへのアプローチ方法

- ▶ 受験者は全文を読み、話を理解する必要があります。
- ▶ 番号の振られた空所をそれぞれ順番に確認し、A～Hの中から空所に合致する文を1つ選びます。
- ▶ 受験者は、選択した文が、文法的にも、文章中に提示された説明や議論との関係においても、空所の前後の文章に適合していることを確認する必要があります。
- ▶ 文章を選択した後、受験者は、他の7つの文では適合しない理由を判断します。
- ▶ すべての空所が埋まったら、受験者は文章を読み返し、意味が通っているかどうかを確認する必要があります。

## 評価

- ▶ 受験者は、文章の内容やそこに含まれる態度や意見を読み取ることができ、一貫性がありしっかり構成された文章がどのような形になっているのかを理解していることを示す必要があります。

## リーディング パート 5

### Part 5

#### Questions 21 – 26

For each question, choose the correct answer.

#### This car runs on chocolate!

Scientists have built a 300kph racing car that uses chocolate as a fuel! The project is (21) ..... to show how car-making could (22) ..... environmentally friendly. The car meets all racing car (23) ..... apart from its fuel. This is a mixture of waste chocolate and vegetable oil, and such 'biofuels' are not (24) ..... in the sport yet. It has to be mixed with normal fuel so that all parts of the car keep working.

Carrots and other root vegetables were used to make some parts inside and outside the car. Even the mirrors are made from potatoes! The sides of the car (25) ..... a mixture of natural materials from plants as well as other recycled materials.

The project is still young, so the scientists have not yet found out how 'green' the car is. They are planning many experiments to compare its (26) ..... against that of normal racing cars.

- 21 A intended B wished C decided D insisted  
22 A develop B move C become D arrive  
23 A levels B standards C grades D orders  
24 A allowed B let C ruled D agreed  
25 A store B involve C collect D contain  
26 A operation B performance C display D technique

### タスク

- ▶ このパートでは、受験者は番号が振られた6つの空所のある短文を読みます。

### タスクへのアプローチ方法

- ▶ 受験者はまず、文章をスキミング（斜め読み）し、トピックと全体の意味を把握します。
- ▶ 問題数は6問で、受験者は文全体を読み、空所を埋める正しい単語を選びます。
- ▶ 答えを選んだ後は、他の3つの選択肢をチェックし、なぜそれらが正解ではないのかを判断する必要があります。
- ▶ すべての空所が埋まったら、文全体を読み返し、意味が通っているかどうかを確認します。

### 評価

- ▶ これらの空所は、主に語彙をテストするように作成されていますが、文法知識の要素、例えば補語選択がテストされている場合もあります。

## リーディング パート 6

### Part 6

#### Questions 27 – 32

For each question, write the correct answer.  
Write **one** word for each gap.

#### Our new skatepark! by Jack Fletcher

Is there a great skatepark in your town? We've now got the (27) ..... fantastic skatepark ever, and it's all because of my friends and me!

Our old skatepark was full of broken equipment, so none of us ever went there. But we all agreed that (28) ..... we had a better skatepark in our town, we'd use it. And teenagers might come (29) ..... other towns to join us, too.

So I set up an online questionnaire to find out (30) ..... local people wanted. I asked them whether we should improve our old skatepark (31) ..... build a completely new one. People voted to build a new one.

Then we held some events to get money to pay for it. In the end we collected half the cost, and the local council paid the rest. It (32) ..... finally finished last month. So come and try it – you'll have a great time!

### タスク

- ▶ このパートでは、受験者は番号が振られた6つの空所のある短文を読みます。そして、空所を埋める正しい単語を考えなければなりません。

### タスクへのアプローチ方法

- ▶ 受験者は、文章全体をスキミング（斜め読み）し、トピックと全体の意味を把握します。
- ▶ 空所をそれぞれ順番に見て、その空所に最も当てはまる単語を1つ考えます。
- ▶ スペリングが正しいことを確認します。
- ▶ 空所が埋まったら、受験者は文章を読み返し、意味が通っているかどうかを確認します。

### 評価

- ▶ このタスクは、受験者の文法構造の知識をテストするように作成されていますが、句動詞や一般的な定型表現がテストされている場合もあります。

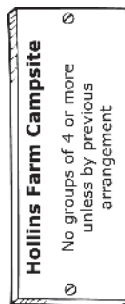
Part 1

Questions 1 – 5

For each question, choose the correct answer.

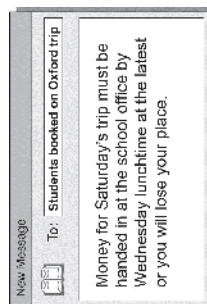
1

- A All campers must reserve a place in advance.
- B Groups bigger than four are not allowed on this site.
- C Groups of more than three should contact the campsite before arriving.



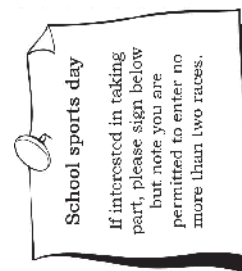
2

- A Those who don't pay punctually won't be able to go to Oxford.
- B There are very few places left on the Oxford trip.
- C This is the last chance for students to register for the Oxford trip.



3

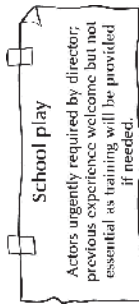
- A You must have signed permission to take part in sports day.
- B You have to limit the number of sports day races you take part in.
- C You need to write your name here to get more information about sports day.



2

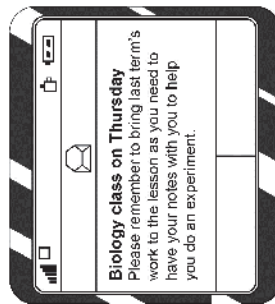
4

- A It is essential to have more actors even if they haven't acted before.
- B It is important for all actors to have training before being involved in the play.
- C It is necessary to find a new director to train the actors.



5

- A Students must write detailed notes on this week's experiment.
- B Students should check that their work last term was done accurately.
- C Students need to look at previous work while doing an experiment.



3

Turn over ▶



Part 2

Questions 6 – 10

For each question, choose the correct answer.

The young people below all want to do a cycling course during their school holidays. On the opposite page there are descriptions of eight cycling courses. Decide which course would be the most suitable for the people below.



**6** Nancy is fourteen and cycles quite well. She needs to learn how to cycle safely from her home to school on busy city roads. She's only free at the weekends.



**7** Markus is an excellent cyclist and he wants the excitement of riding on countryside and woodland tracks. He'd also like to learn more about looking after his bike. He can't attend a morning course.



**8** Ellie is nine and knows how to ride her bike, but isn't confident about starting and stopping. She'd love to meet other cyclists with a similar ability and have fun with them.



**9** Leo can't cycle yet, and wants to learn on his own with the teacher. He'd prefer a course with sessions twice a week. He'd also like some practical information about cycling clothes and equipment.



**10** Josh is eleven and a skilled cyclist. He's keen to learn to do exciting cycling tricks in a safe environment. He'd like to be with people of a similar age.

Cycling Courses

**A Two Wheels Good!**

Mountains! Rivers! Forests! Our 'off-road' course offers you the chance to get out of the city. You'll need very good cycling skills and confidence. You will be with others of the same ability. Expert advice on keeping your bike in good condition also included.  
Mondays 2.00 pm–6.00 pm or Fridays 3.00 pm–7.00 pm.

**B**

**On Your Bike!**

Can't ride a bike yet, but really want to? Don't worry. Our beginners-only group (4-10 pupils per group) is just what you're looking for. Excellent teaching in safe surroundings. Makes learning to cycle fun, exciting and easy.  
Mondays 9.00 am–11.00 am and Thursdays 2.00 pm–4.00 pm.

**C**

**Fun and Games**

Do you want some adventure? Find out how to do 'wheelies' (riding on one wheel), 'rampers' (cycling off low walls), 'spins' and much more... We offer a secure practice ground, excellent trainers and loads of fun equipment. Wear suitable clothes. Only for advanced cyclists.  
(Age 11–12)  
Saturdays 1.00 pm–4.00 pm.

**D**

**Pedal Power**

A course for able cyclists. We specialise in teaching riders of all ages how to manage difficult situations in heavy traffic in towns and cities. We guarantee that by the end of the course, no roundabout or crossroads will worry you!  
Saturdays 2.00 pm–4.00 pm.

**E**

**Cycling 4 U**

Not a beginner, but need plenty of practice? This course offers practical help with the basics of balancing and using your brakes safely. You'll be in a group of pupils of the same level. Improve your cycling skills and enjoy yourself at the same time! Open to all children up to the age of ten.  
Sundays 10.00 am–12.00 pm.

**F**

**Bike Doctors**

Have you been doing too many tricks on your bike? Taken it up mountains and through rivers? Then it probably needs some tender loving care. Bike Doctors teach you to maintain and repair your bike. (Some basic equipment required.)  
Ages 11-19 Tuesdays 9.00 am–12.00 pm or Wednesdays 3.00 pm–6.00 pm.

**G**

**Safety First**

We teach cycling safety for the city centre and country lane biker. We'll teach you the skills you need to deal with all the vehicles using our busy roads. All ages welcome from 10+.  
Thursdays 9.00 am–11.00 am.

**H**

**Setting Out**

A course for absolute beginners needing one-to-one instruction to get off to a perfect start. We also give advice on helmets, lights, what to wear and much more. A fantastic introduction to cycling! Mondays and Tuesdays 9.00 am–11.00 am.

## Part 3

## Questions 11 – 15

For each question, choose the correct answer.

## Play to win

16-year-old Harry Moore writes about his hobby, tennis.

My parents have always loved tennis and they're members of a tennis club. My older brother was really good at it and they supported him – taking him to lessons all the time. So I guess when I announced that I wanted to be a tennis champion when I grew up I just intended for them to notice me. My mother laughed. She knew I couldn't possibly be serious, I was just a 4-year-old kid!

Later, I joined the club's junior coaching group and eventually took part in my first proper contest, confident that my team would do well. We won, which was fantastic, but I wasn't so successful. I didn't even want to be in the team photo because I didn't feel I deserved to be. When my coach asked what happened in my final match, I didn't know what to say. I couldn't believe I'd lost – I knew I was the better player. But every time I attacked, the other player defended brilliantly. I couldn't explain the result.

After that, I decided to listen more carefully to my coach because he had lots of tips. I realised that you need the right attitude to be a winner. On court I have a plan but sometimes the other guy will do something unexpected so I'll change it. If I lose a point, I do my best to forget it and find a way to win the next one.

At tournaments, it's impossible to avoid players who explode in anger. Lots of players can be negative – including myself sometimes. Once I got so angry that I nearly broke my racket! But my coach has helped me develop ways to control those feelings. After all, the judges have a hard job and you just have to accept their decisions.

My coach demands that I train in the gym to make sure I'm strong right to the end of a tournament. I'm getting good results: my shots are more accurate and I'm beginning to realise that with hard work there's a chance that I could be a champion one day.

11 Harry thinks he said that he was going to be a tennis champion in order to

- A please his parents.
- B get some attention.
- C annoy his older brother.
- D persuade people that he was serious.

12 How did Harry feel after his first important competition?

- A confused about his defeat.
- B proud to be a member of the winning team.
- C ashamed of the way he treated another player.
- D amazed that he had got so far in the tournament.

13 What does Harry try to remember when he's on the court?

- A Don't let the other player surprise you.
- B Follow your game plan.
- C Respect the other player.
- D Don't keep thinking about your mistakes.

14 What does Harry say about his behaviour in tournaments?

- A He broke his racket once when he was angry.
- B He stays away from players who behave badly.
- C He tries to keep calm during the game.
- D He found it difficult to deal with one judge's decisions.

15 What might a sports journalist write about Harry now?

A Harry needs to believe in his own abilities and stop depending on good luck when he plays.

B Harry has really grown up since his first tournament and discovered that tennis is a battle of minds not just rackets.

C Harry looked exhausted when he finished his last match so maybe he should think about working out.

D Harry could be a great player but he needs to find a coach to take him all the way to the big competitions.

## Part 4

## Questions 16 – 20

Five sentences have been removed from the text below. For each question, choose the correct answer. There are three extra sentences which you do not need to use.

### Planting trees

by Mark Rotherham, aged 13

This spring, our teacher suggested we should get involved in a green project and plant some trees around the school. Everyone thought it was a great idea, so we started looking online for the best trees to buy. **16** If we wanted them to grow properly, they had to be the right type – but there were so many different ones available! So our teacher suggested that we should look for trees that grew naturally in our part of the world. **17** They'd also be more suitable for the wildlife here.

Then we had to think about the best place for planting the trees. We learnt that trees are happiest where they have room to grow, with plenty of space for their branches. The trees might get damaged close to the school playgrounds, for example. **18** Finally, we found a quiet corner close to the school garden – perfect!

Once we'd planted the trees, we knew we had to look after them carefully. We all took turns to check the leaves regularly and make sure they had no strange spots or marks on them. **19** And we decided to check the following spring in case the leaves turned yellow too soon, as that could also mean the tree was sick.

We all knew that we wouldn't be at the school anymore by the time the trees grew tall, and that was a bit sad. But we'd planted the trees to benefit not only the environment, but also future students at the school. **20** And that thought really cheered us up!

8

- A So we tried to avoid areas where students were very active.
- B However, our parents did offer to help with the digging!
- C That could mean the tree had a disease.
- D But we soon found that choosing trees was quite complicated.
- E It can be quite good for young trees, though.
- F We knew they'd get as much pleasure from them as we had.
- G But at least we were doing it in the right season.
- H That way, the trees would be used to local conditions.

9

Turn over ▶

## Part 5

## Questions 21 – 26

For each question, choose the correct answer.

### This car runs on chocolate!

Scientists have built a 300kph racing car that uses chocolate as a fuel! The project is (21) ..... to show how car-making could (22) ..... environmentally friendly. The car meets all racing car (23) ..... apart from its fuel. This is a mixture of waste chocolate and vegetable oil, and such 'biofuels' are not (24) ..... in the sport yet. It has to be mixed with normal fuel so that all parts of the car keep working.

Carrots and other root vegetables were used to make some parts inside and outside the car. Even the mirrors are made from potatoes! The sides of the car (25) ..... a mixture of natural materials from plants as well as other recycled materials.

The project is still young, so the scientists have not yet found out how 'green' the car is. They are planning many experiments to compare its (26) ..... against that of normal racing cars.

- |    |   |           |   |             |   |         |   |           |
|----|---|-----------|---|-------------|---|---------|---|-----------|
| 21 | A | intended  | B | wished      | C | decided | D | insisted  |
| 22 | A | develop   | B | move        | C | become  | D | arrive    |
| 23 | A | levels    | B | standards   | C | grades  | D | orders    |
| 24 | A | allowed   | B | let         | C | ruled   | D | agreed    |
| 25 | A | store     | B | involve     | C | collect | D | contain   |
| 26 | A | operation | B | performance | C | display | D | technique |

10

## Part 6

## Questions 27 – 32

For each question, write the correct answer. Write **one** word for each gap.

### Our new skatepark! by Jack Fletcher

Is there a great skatepark in your town? We've now got the (27) ..... fantastic skatepark ever, and it's all because of my friends and me!

Our old skatepark was full of broken equipment, so none of us ever went there. But we all agreed that (28) ..... we had a better skatepark in our town, we'd use it. And teenagers might come (29) ..... other towns to join us, too.

So I set up an online questionnaire to find out (30) ..... local people wanted. I asked them whether we should improve our old skatepark (31) ..... build a completely new one. People voted to build a new one.

Then we held some events to get money to pay for it. In the end we collected half the cost, and the local council paid the rest. It (32) ..... finally finished last month. So come and try it – you'll have a great time!

11

# 評価

---

## 解答

Q	Part 1
1	C
2	A
3	B
4	A
5	C

Q	Part 2
6	D
7	A
8	E
9	H
10	C

Q	Part 3
11	B
12	A
13	D
14	C
15	B

Q	Part 4
16	D
17	H
18	A
19	C
20	F

Q	Part 5
21	A
22	C
23	B
24	A
25	D
26	B

Q	Part 6
27	most
28	if/when
29	from
30	what
31	or
32	was

Page 1 of 2

Draft

OFFICE USE ONLY - DO NOT WRITE OR MAKE ANY MARK ABOVE THIS LINE

**Cambridge Assessment English**

Candidate Name: \_\_\_\_\_

Centre Name: \_\_\_\_\_

Examination Title: \_\_\_\_\_

Candidate Signature: \_\_\_\_\_

Candidate Number: \_\_\_\_\_

Centre Number: \_\_\_\_\_

Examination Details: \_\_\_\_\_


Assessment Date: \_\_\_\_\_

Supervisor: If the candidate is **ABSENT** or has **WITHDRAWN** shade here

**Preliminary for Schools Reading Candidate Answer Sheet**

**Instructions**  
Use a **PENCIL (B or HB)**  
Rub out any answer you want to change with an eraser.

**For Parts 1, 2, 3, 4 and 5:**  
Mark **ONE** letter for each answer.  
For example: If you think A is the right answer to the question, mark your answer sheet like this:



**A**  **B**  **C**  **D**

**Part 1**

1	A	B	C	D
2	A	B	C	D
3	A	B	C	D
4	A	B	C	D
5	A	B	C	D

**Part 2**

6	A	B	C	D	E	F	G	H
7	A	B	C	D	E	F	G	H
8	A	B	C	D	E	F	G	H
9	A	B	C	D	E	F	G	H
10	A	B	C	D	E	F	G	H

**Part 3**

11	A	B	C	D
12	A	B	C	D
13	A	B	C	D
14	A	B	C	D
15	A	B	C	D

**Part 4**

16	A	B	C	D	E	F	G	H
17	A	B	C	D	E	F	G	H
18	A	B	C	D	E	F	G	H
19	A	B	C	D	E	F	G	H
20	A	B	C	D	E	F	G	H

**Part 5**

21	A	B	C	D
22	A	B	C	D
23	A	B	C	D
24	A	B	C	D
25	A	B	C	D
26	A	B	C	D

**Continues over** →

Page 1 of 2

Draft

OFFICE USE ONLY - DO NOT WRITE OR MAKE ANY MARK BELOW THIS LINE

Page 2 of 2

Draft

OFFICE USE ONLY - DO NOT WRITE OR MAKE ANY MARK ABOVE THIS LINE

**For Part 6:**  
Write your answers clearly in the spaces next to the numbers (27 to 32) like this:

0 **E N G L I S H**

Write your answers in **CAPITAL LETTERS**.

**Part 6**

27	_____	Do not write below here
28	_____	27 1 0 <input type="radio"/>
29	_____	28 1 0 <input type="radio"/>
30	_____	29 1 0 <input type="radio"/>
31	_____	30 1 0 <input type="radio"/>
32	_____	31 1 0 <input type="radio"/>
		32 1 0 <input type="radio"/>

Page 2 of 2

Draft

OFFICE USE ONLY - DO NOT WRITE OR MAKE ANY MARK BELOW THIS LINE

Paper 2:

45 分

# ライティング タスク

パート	設問数	配点	タスクの種類	受験者に求められること
1	1	20	Eメール	与えられたEメールやメモに応じて、約100語で文を書く。受験者は次の4つのサブスケールを用いて評価される: コンテンツ (内容)、コミュニケーションの達成度、構成、言語。
2	1	20	記事または物語	選んだ問題に答えて、約100語で文を書く。受験者は次の4つのサブスケールを用いて評価される: コンテンツ (内容)、コミュニケーションの達成度、構成、言語。
合計	2	40		



## 学習者のライティング問題対策のヒント

- ✓ 学習者は、採点官が読みやすいように、明瞭な文字で答えを書かなければなりません。大文字・小文字のいずれで書いてもよく、また筆記体でも問題ありませんが、答えが明瞭に記入されていることが最も重要です。
- ✓ 学習者は、求められている単語数とほぼ同程度の単語数で書くことを目指す必要があります。これによって、重要な情報（例えば、パート1のコンテンツのポイント）を書き漏らしたり、無関係な情報を含めることでメッセージが不明瞭になったりすることがなくなります。
- ✓ 学習者は、試験を受ける前に、ライティングのタスクとそこで求められることをよく理解しておく必要があります。

### Eメールのライティングの場合：

- 学習者は、定期的にペンフレンドやEメール友達に宛てて手紙やメールを書くようにするとよいでしょう。
- 学習者は、Eメールを読み、どのような構成になっているのかを認識する必要があります。これには、Eメールの始めと終わりに使用される一般的な言葉と句が含まれます。

### 記事のライティングの場合：

- 学習者は定期的に、自分が興味を持っているテーマについての短い記事のような文章を考えて書くようにするとよいでしょう。
- 学習者は雑誌やウェブサイトなどの記事を読むとよいでしょう。そうした記事を用いて、記事のような文章がどのように構成されているか、他にどのような言語的特徴があるかを知ることができます。

### 物語のライティングの場合：

- 学習者は、自宅でも授業中にも、定期的に短い物語を考えて書くようにするとよいでしょう。
- 学習者は、例えば英語の簡単な読み物などの短い物語を読むのもよいでしょう。それらを用いて、物語がどのように始まり、どのように発展し、どのように終わるかを理解することができます。

## リソースへのクイックリンク

### 学習者向け

[cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation](https://cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation)

- 「受験者情報」ガイド

### 教師向け

[cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation](https://cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation)

- 語彙リスト（トピックリストを含む）
- 無料の教材
- 授業計画

[cambridgeenglish.org/teaching-english/](https://cambridgeenglish.org/teaching-english/resources-for-teachers)

[resources-for-teachers](https://cambridgeenglish.org/teaching-english/resources-for-teachers)

言語仕様:70ページ

トピックリスト:72ページ

# タスク別アドバイス

26 ページ以降のタスクをもれなく参照してください。

## ライティング パート 1

Part 1

You must answer this question.  
Write your answer in about 100 words on the answer sheet.

---

**Question 1**  
Read this email from your English teacher Mrs Lake and the notes you have made.

**EMAIL**

From: Mrs Lake  
Subject: End of year party

Dear Class,

I'd like our class to have a party to celebrate the end of the school year.

We could either have a party in the classroom or we could go to the park. Which would you prefer to do?

What sort of activities or games should we do during the party?

What food do you think we should have at the party?

Reply soon!

Anna Lake

Great!

Explain

Suggest ...

Tell Mrs Lake

Write your email to Mrs Lake using all the notes.

### タスク

- ▶ 受験者はこの問題に答えなければなりません。
- ▶ 100 ~ 120 語からなる情報資料に対応することが求められます。
- ▶ 与えられる情報は、標準的な指示文、Eメール、および与えられたEメール文の適切な部分に線で結びつけられたメモとして記載されている4つのプロンプトで構成されます。
- ▶ このタスクでは、受験者に対して、状況、宛先は誰か、メールを書く理由、そして4つの重要なコンテンツポイントが示されます。
- ▶ 受験者は、約100語の返信に4つのコンテンツポイントを含めなければなりません。
- ▶ このタスクでは、受験者は機能言語を使いこなす能力を示す必要があります。例えば、同意する、反対する、意見を述べる、提案する、説明するなどです。

### タスクへのアプローチ方法

- ▶ 受験者は返事を書く前に、誰に書いているのか、なぜ書いているのか、返事に何を書く必要があるのかを明確にしておきます。
- ▶ 受験者はメールを注意深く読み、4つのプロンプトに確実に対応する必要があります。
- ▶ 事前に準備した答えを覚えるべきではありません。実際の試験のタスクに合致しない可能性があります。
- ▶ 受験者は、しっかり構成された、適切な内容を含む答えを書くために、書き始める前に慎重にプランニングする練習をするとよいでしょう。
- ▶ また、推奨される語数の範囲内で指定時間内に答えを書く練習をする必要もあります。
- ▶ 自分や他の人の答えを、問題とよく照らし合わせて評価する練習をしておくといよいでしょう。例えば、解答例を見たり、お互いの答えを見たりして、どの部分がうまく書けているか、構成、言葉、コミュニケーションの面でどのような点が改善できるかを確認することができます。
- ▶ 受験者は文章を書いた後、全体を読み直し、意味が明確で、すべてのコンテンツポイントが含まれていることを確認する必要があります。

### 評価

- ▶ 解答は4つのサブスケールからなる評価スケールを用いて評価されます：コンテンツ（内容）、コミュニケーションの達成度、構成、言語。
- ▶ 受験者は、たとえ重要ではない間違いがあったとしても、さまざまな時制、表現、語彙を使うことを目指すべきです。受験者は、自分の言語能力をフルに発揮し、意欲的に言語を使うことが重要です。
- ▶ 「コミュニケーションに影響を与えない誤り（Non-impeding errors）」は、必ずしも減点の対象にはなりません。これには、スペリング、文法、句読点の誤りが含まれます。ただし、コミュニケーションの妨げになったり、コミュニケーションの断絶を引き起こしたりする誤りは、より厳しく採点されます。

## ライティング パート 2

## Part 2

Choose **one** of these questions.  
Write your answer in about **100 words** on the answer sheet.

## Question 2

You see this announcement in your school English-language magazine.

<p><b>Articles wanted!</b></p> <p><b>WHAT MAKES YOU LAUGH?</b></p> <p>Write an article telling us what you find funny and who you enjoy laughing with. Do you think it's good to laugh a lot? Why?</p> <p>The best articles answering these questions will be published next month.</p>
---

Write your **article**.

## Question 3

Your English teacher has asked you to write a story.

Your story must begin with this sentence.

*Jo looked at the map and decided to go left.*

Write your **story**.

## タスク

- ▶ 受験者は、記事か物語のどちらかを選び、約 100 語で文章を書かなければなりません。
- ▶ 記事の場合、受験者は雑誌やウェブサイトの案内を読みます。これには書かなければならないトピックが示されています。例えば、複数の質問に答える必要がある場合もあります。
- ▶ 物語の場合、受験者には物語の最初の文が示されます。この冒頭の文に続けて、明確に関連する物語を書かなければなりません。

## タスクへのアプローチ方法

- ▶ 受験者は、しっかり構成された、適切な内容を含む答えを書くために、書き始める前に慎重にプランニングする練習をしましょう。
- ▶ また、推奨される語数の範囲内で指定時間内に答えを書く練習をする必要もあります。
- ▶ 自分や他の人の答えを、問題とよく照らし合わせて評価する練習をしておくといでしょう。例えば、解答例を見たり、お互いの答えを見たりして、どの部分がうまく書けているか、構成、言葉、コミュニケーションの面でどのような点が改善できるかを確認することができます。
- ▶ 受験者は自分と自分の関心に最も沿った課題を選ぶといでしょう。選択する前に、2つの問題のトピックと言語的に要求されること（例えば語彙）も考慮する必要があります。
- ▶ 物語を書くときには、受験者は最初の文に使われている名前や代名詞に細心の注意を払い、自分の物語が同じパターンに従っているようにします。例えば、物語が三人称で始まる場合は、三人称で物語を続ける必要があります。

## 評価

- ▶ 解答は4つのサブスケールからなる評価スケールを用いて評価されます：コンテンツ（内容）、コミュニケーションの達成度、構成、言語。
- ▶ 受験者は、たとえ重要ではない間違いがあったとしても、さまざまな時制、表現、語彙を使うことを目指すべきです。受験者は、自分の言語能力をフルに発揮し、意欲的に言語を使うことが重要です。
- ▶ 「コミュニケーションに影響を与えない誤り（Non-impeding errors）」は、必ずしも減点の対象にはなりません。これには、スペリング、文法、句読点の誤りが含まれます。ただし、コミュニケーションの妨げになったり、コミュニケーションの断絶を引き起こしたりする誤りは、より厳しく採点されます。

Part 1

You **must** answer this question.  
Write your answer in about **100 words** on the answer sheet.

Question 1

Read this email from your English teacher Mrs Lake and the notes you have made.

**EMAIL**

**From:** Mrs Lake  
**Subject:** End of year party

Dear Class,

I'd like our class to have a party to celebrate the end of the school year. *Great!*

We could either have a party in the classroom or we could go to the park. Which would you prefer to do?

What sort of activities or games should we do during the party? *Explain*

What food do you think we should have at the party?

Reply soon!

Anna Lake

*Tell Mrs Lake*

*Suggest ...*

Write your **email** to Mrs Lake using **all the notes**.

Part 2

Choose **one** of these questions.  
Write your answer in about **100 words** on the answer sheet.

Question 2

You see this announcement in your school English-language magazine.

Articles wanted!

**WHAT MAKES YOU LAUGH?**

Write an article telling us what you find funny and who you enjoy laughing with.  
Do you think it's good to laugh a lot? Why?

The best articles answering these questions will be published next month.

Write your **article**.

Question 3

Your English teacher has asked you to write a story.  
Your story must begin with this sentence.

*Jo looked at the map and decided to go left.*

Write your **story**.

# 評価

## 採点官および採点

ライティング採点官（WE）は、厳しいトレーニングと認定のプロセスを経て、採点を行うことが認められます。承認後は、チームリーダー（TL）が監督します。TLは主席採点官（PE）が指揮し、PEは採点プロセスを指導・監視します。

WEは、安全なオンラインの採点環境で受験者の答案を採点します。ソフトウェアが受験者の答案をランダムに割り当て、個々の採点官が良い答案や悪い答案、ある言語グループばかりを集中して受け取らないようにします。ソフトウェアでは、採点官の採点の質と一貫性をモニターすることも可能です。採点期間中、PEとTLは自チームの進捗状況を確認し、必要に応じてサポートやアドバイスをすることができます。

## 評価スケール

採点官は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に明示的な関連付けを行って開発された評価スケールを使用してタスクを採点します。このスケールは、一般教育、高等教育およびビジネスに関するケンブリッジ英語検定のライティング試験全般で使用され、次の4つのサブスケールで構成されています：コンテンツ（内容）、コミュニケーションの達成度、構成、言語。

- **コンテンツ（内容）**：受験者がタスクをどの程度達成したか、つまり、要求されたことを実行したかどうかに関点を当てます。
- **コミュニケーションの達成度**：そのタスクに適したライティングになっているか、適した言語使用域のライティングであったかに焦点を当てます。
- **構成**：受験者が文章をまとめる方法、つまり論理的で秩序立った文章になっているかに焦点を当てます。
- **言語**：語彙と文法に焦点を当てます。これには、語彙の豊富さと正確性が含まれます。

解答は0～5の各サブスケールで採点されます。

タスクを採点する際、採点官は答案の長さと言語の多様性を考慮します。

- タスクごとに答えの長さに関するガイドラインが示されます。短すぎる答えには多様な種類の言葉が含まれておらず、必要な情報がすべて記載されていない可能性があります。一方で、長すぎる場合は無関係な内容が含まれており、読み手にネガティブな影響を及ぼす可能性があります。これらは、関連するサブスケールにおいて受験者の得点に影響する可能性があります。
- 受験者は、スペリングなど、各分野である程度一貫性のある特定の種類の英語を使うことが期待されており、例えば、ある単語をイギリス英語のスペリングで書いていたのに、途中でその単語をアメリカ英語のスペリングに切り替えて書くことは望ましくありません。

サブスケールの「**コンテンツ（内容）**」については、すべてのレベルに共通しています。

	コンテンツ（内容）
5	内容はすべてタスクに関係している。 対象となる読み手に論旨が十分伝わる。
3	無関係な点が若干含まれる、あるいは [また] 必要な点が若干足りていない。 対象となる読み手に論旨が概ね伝わる。
1	無関係な点、また、タスクを理解していないところが見られる。 対象となる読み手に最低限の論旨は伝わる。
0	内容がまったく無関係。 対象となる読み手に論旨が伝わらない。

残りの3つのサブスケール（**コミュニケーションの達成度**、**構成**、**言語**）には、各CEFRレベルに特化した記述子があります（次ページ参照）。

B1 Preliminary for Schools のライティング採点官は、次ページの評価スケールから抽出した次の評価スケールを使用します。

B1	コンテンツ (内容)	コミュニケーションの達成度	構成	言語
5	内容はすべてタスクに関係している。 対象となる読み手に論旨が十分伝わる。	コミュニケーションタスクの決まりを使って、対象となる読み手の注意を逸らさず、簡単な考えを伝達している。	文が、多様な接続語と接続表現を使って概ねしっかり構成されていて、一貫性もある。	日常ではあまり使わない語彙については不適切な使い方が少し見られるものの、日常的な語彙については適切に用いている。 単純な文法形式、そしてある程度複雑な文法形式も、かなり使いこなせている。 誤りがコミュニケーションを妨げていない。
4	Band 3 と Band 5 の特徴を共に持っている			
3	無関係な点が若干含まれる、あるいは [また] 必要な点が若干足りていない。 対象となる読み手に論旨が概ね伝わる。	コミュニケーションタスクの決まりを概ね適切に使って、簡単な考えを伝達している。	文が、基本的な接続語と数は限られているが結びつける表現を使って結ばれていて、一貫性もある。	日常的な語彙については概ね適切に用いているが、特定の語を使いすぎる場合がある。 単純な文法形式については、かなり使いこなせている。 誤りがよく目につくものの、意味は判断できる。
2	Band 1 と Band 3 の特徴を共に持っている			
1	無関係な点、また、タスクを理解していないところが見られる。 対象となる読み手に最低限の論旨は伝わる。	簡単な考えを簡潔に伝達する文章を書いている。	文が、基本的で、きわめてよく用いられる接続語によって結ばれている。	基本的な語彙はまずまず適切な使い方ができている。 単純な文法形式については、ある程度使うことができる。 誤りが意味を阻害することがある。
0	内容がまったく無関係。 対象となる読み手に論旨が伝わらない。	Band 1 に満たない出来栄		



CEFR レベル	コミュニケーション の達成度	構成	言語
	<p>コミュニケーションタスクの決まりを完全に使いこなせることを示している。</p> <p>複雑な考えを効果的かつ説得力のある方法で伝達し、対象となる読み手の注意を逸らさないようにすることも容易に行い、コミュニケーション目的をすべて達成している。</p>	<p>文章はみごとに構成されていて一貫性があり、幅広い接続表現と柔軟性に富んだ構成パターンを使用している。</p>	<p>日常ではあまり使わない語彙を含む幅広い語彙を使用しており、流暢さ、正確さ、スタイルを備え、洗練されている。</p> <p>文法の使い方は洗練されており、完全に使いこなしており、自然で申し分ない。</p> <p>不正確な箇所は単純な間違いとしてのみ発生している。</p>
C2	<p>コミュニケーションタスクの決まりを十分な柔軟性をもって用い、複雑な考えを効果的な方法で伝達し、対象となる読み手の注意を逸らさないようにすることも容易に行い、コミュニケーション目的をすべて達成している。</p>	<p>文が、多様な接続表現と柔軟性のある構成パターンを使ってしっかり構成されていて、全体として一貫性もある。</p>	<p>日常ではあまり使わない語彙を含む、さまざまな語彙を効果的かつ正確に使用している。</p> <p>単純な文法形式と複雑な文法形式をさまざまに使用して完全に、柔軟かつ洗練された方法で使いこなしている。</p> <p>誤りがある場合は、あまり一般的でない単語や構造に関連しているか、単純な間違いとして発生している。</p>
C1	<p>コミュニケーションタスクの決まりを効果的に用いて、対象となる読み手の注意を逸らさず、簡単な考えと複雑な考えを適切に伝達している。</p>	<p>文が、多様な接続表現と構成パターンを十分効果的に使ってしっかり構成されていて、一貫性もある。</p>	<p>日常ではあまり使わない語彙を含む、さまざまな語彙を適切に使用している。</p> <p>単純な文法形式から複雑な文法形式まで、柔軟に使いこなしている。</p> <p>時折誤りが発生することがあるが、コミュニケーションを妨げていない。</p>
B2	<p>コミュニケーションタスクの決まりを使って、対象となる読み手の注意を逸らさず、簡単な考えを伝達している。</p>	<p>文が、多様な接続語と接続表現を使って概ねしっかり構成されていて、一貫性もある。</p>	<p>日常ではあまり使わない語彙については不適切な使い方が少し見られるものの、日常的な語彙については適切に用いている。</p> <p>単純な文法形式、そしてある程度複雑な文法形式も、かなり使いこなせている。</p> <p>誤りがコミュニケーションを妨げていない。</p>
B1	<p>コミュニケーションタスクの決まりを概ね適切に使って、簡単な考えを伝達している。</p>	<p>文が、基本的な接続語と数は限られているが結びつける表現を使って結ばれていて、一貫性もある。</p>	<p>日常的な語彙については概ね適切に用いているが、特定の語を使いすぎる場合がある。</p> <p>単純な文法形式については、かなり使いこなせている。</p> <p>誤りがよく目につくものの、意味は判断できる。</p>
A2	<p>簡単な考えを簡潔に伝達する文章を書いている。</p>	<p>文が、基本的で、きわめてよく用いられる接続語によって結ばれている。</p>	<p>基本的な語彙はまずまず適切な使い方ができている。</p> <p>単純な文法形式については、ある程度使うことができる。</p> <p>誤りが意味を阻害することがある。</p>



# ライティング採点スキーム用語集

## 1. 全般

### 概ね

概ねとは、あらゆる点または場合ではないことを意味する修飾語です。したがって、「概ね適切」とは、「適切」ほどよくない出来栄を指します。

### 柔軟性

柔軟および柔軟には、言語、構成表現、タスクの決まりなどについて、同じ形を何度も繰り返して使用するのではなく随時適応させることができる能力を指し、リソースをうまく使いこなせることとリソースのレパートリーが幅広いことを実証するものです。柔軟性を備えた受験者は、コミュニケーション目標をよりうまく達成することができます。

## 2. コンテンツ（内容）

### 関係している

関係しているとは、要求されるコンテンツポイント、あるいは[また]タスク要件に関連する、または関連付けられることを意味します。

### 対象となる読み手

対象となる読み手とは、タスクで設定された仮想の読み手、例えば、雑誌の読者や受験者の英語教師などです。

### 論旨が伝わる

コンテンツポイントやタスク要件が対処され、適切に展開された場合、対象となる読み手に**論旨が伝わります**。コンテンツポイントの中には、それほど展開を必要としないもの（例えば×とは何かを述べる）もあれば、展開を必要とするもの（詳述する、説明する）もあります。

## 3. コミュニケーションの達成度

### コミュニケーションタスクの決まり

コミュニケーションタスクの決まりには、ジャンル、形式、言語使用域、機能などが含まれます。例えば、個人的な手紙は、フォーマルな報告書として書くのではなく、手紙としてふさわしいようにレイアウトを整え、コミュニケーション目的に沿った正しい口調を用いる必要があります。

### 対象となる読み手の注意を逸らさない

対象となる読み手の注意を逸らさないとは、肯定的な意味で使用され、読み手が意味を導き出すことができ、気を取られることのないような文の質を指します。読みにくい、意味がわかりにくいなどの理由で、読み手に注意深く読むことを強いる文ではありません。

### コミュニケーション目的

コミュニケーション目的とは、例えば苦情を申し立てる、代替案を提案するなど、タスクに設定されているコミュニケーション要件を指します。

## 簡単な考えと複雑な考え

簡単な考えとは、比較的限定された主題、通常は具体的な性質の主題に関係し、その伝達にあたっては、より単純な修飾的技法を必要とするものです。複雑な考えとは、より抽象的な性質を持つもの、またはより広い主題領域をカバーするもので、より多くの修飾リソースを利用してまとめ、表現する必要があります。

## 4. 構成

### 接続語、接続表現、構成パターン

接続語は接続表現ですが、ここでは、明示的なつながりをもたらす、よく使われる語彙を指すために分けて取り扱います。よく使われる基本的な単語（*and* や *but* など）から基本的な語句（*because*、*first of all*、*finally*）までさまざまです。

接続表現とは、より洗練された接続語および接続句（例：*moreover*、*it may appear*、*as a result*）や、指示代名詞の使用、置換（例：*There are two women in the picture. The one on the right...*）、省略（例：*The first car he owned was a convertible, the second a family car*）、または反復などの文法表現を指します。

構成パターンとは、文と文の間のレベルやそれ以上のレベルにおいて関連性をもたらすための、あまり明示的ではない手法を指します。例えば、漸層法の順序で文を並べる、並列性を使用する、新しい段落を設定するために修飾的な質問を使用するなどです。

## 5. 言語

### 語彙

基本的な語彙とは、サバイバル目的、単純なやり取り等に使用される語彙を指します。

日常的な語彙とは、関連する分野において、技術的ではない一般的な状況で出現する語彙を指します。

日常ではあまり使わない語彙とは、関連する分野に出現する頻度の低い語彙項目を指します。これらの語は、考えをより簡潔かつ正確に表現するのに役立ちます。

### 語彙の適切性

語彙の適切性：与えられたタスクの文脈に適合する単語や句の使用。例えば、*I'm very sensible to noise* という文では、*sensitive* という単語を用いるべきなので *sensible* という単語は不適切です。もう1つの例としてあげられるのは、*Today's big snow makes getting around the city difficult* です。*getting around* という言葉はこの状況に適しています。ただし、*big* と *snow* は一緒に使われないため、*big snow* という表現は不適切です。*Heavy snow* が適切でしょう。

### 文法形式

単純な文法形式：単語、句、基本的な時制、および単純な節。

複雑な文法形式：より長く複雑な語、例えば、名詞節、関係節や副詞節、従属、受動態、不定詞、動詞型、叙法形式、時制対比。

### 文法駆使力

**文法駆使力**：意図した意味を伝えるために、文法を正確かつ適切に一貫して使用する能力。

より低いレベルの言語仕様（A2 Key や B1 Preliminary の言語仕様のように）が用いられる場合、受験者はリストされた形式のうち代表的形式の最も基本的なもののみを使いこなすことができる場合もあります。

### 範囲

**範囲**：受験者が使用するさまざまな単語および文法形式。より高いレベルになると、受験者はより多様な語、定型表現、コロケーション、文法形式をより多く利用するようになります。

### 過度の使用

**過度の使用**とは、受験者が、別の言葉を使ったり、同じ考えを別の方法で表現したりするだけのリソースを持っていないため、同じ言葉を繰り返し使用する場合を指します。タスクのトピックであるために頻出が避けられない単語もありますが、この場合は用語の過度の使用の範疇には入りません。

### 誤りと単純な間違い

**誤り**は系統的なミスです。**単純な間違い**は、非系統的なミスです。すなわち、受験者は語彙項目または文法構造を習得していますが、この場合はたまたまミスをしただけというものです。受験者の答えにおいて、語彙や文法的なポイントの他のほとんどの例が正しい場合、特定のポイントの間違いは単純な間違いである可能性が高くなります。

### コミュニケーションを妨げる

**コミュニケーションを妨げる**とは、意味の邪魔をするということです。**意味は判断できる**とは、意味を判断するために読み手の努力がいくらか必要であることを示しています。

## 採点官のコメント付きの解答例

### パート1-Eメール

受験者 A

I'm very nervous for this party, to celebrate the end of the school year.

I think that the best place to do the party is the class, because in this way we can be all together. In the class we can do a lot of activities like play with the blackboard, or watch a film, or listen to music.

About the food, we can have pizza, fries and for the sweet people chocolate, sweets or something like this.

I'm sure the party is going to be very well, and we are going to have a very good time.

See you soon!

#### 採点官のコメント

サブスケール	得点	評価
コンテンツ (内容)	5	内容はすべてタスクに関係している。 対象となる読み手に、タスク内のすべてのポイントについて論旨が十分に伝わっている。 <i>nervous</i> という言葉がこの文脈では誤って使われているが、1つめのポイントには対処されている。しかし、メールの残りの部分はポジティブな表現になっているので、これは単純な間違いとみなすことができる。希望 ( <i>the class</i> ) が述べられており、アクティビティ ( <i>play with the blackboard</i> ) や食べ物 ( <i>pizza, fries, chocolate, sweets</i> ) に関する提案がなされている。
コミュニケーションの達成度	3	親しみのある丁寧な口調、一貫した言語使用域などのEメールの決まりが、簡単な考えを伝えるために概ね適切な方法で使われている： <i>I think that, About the food, I'm sure the party is going to be very well, See you soon.</i> 冒頭の挨拶はないが、明らかに Mrs Lake 宛てであり、教師が読むのに適した形式で情報が提示されている。
構成	3	文章はつながりがあり一貫性がある。段落が効果的に使用され、それぞれが1つの面に焦点を当てている。文が、接続語と、指示などのいくつかの接続表現によって結ばれている： <i>this party, because in this way, About the food, and for the sweet people.</i>
言語	3	トピックに適した日常的な語彙が概ね適切に使われている： <i>the best place, together, blackboard, pizza, fries, chocolate, sweets, good time.</i> 最初の文の <i>nervous</i> の使い方は、感情を正しく伝えていないため、少々気を取られる点である。 単純な文法形式をかなり使いこなせている： <i>I think that the best place to do the party, we can be all together, listen to music, something like this, is going to be, we are going to have a very good time.</i> 誤りがよく目につくが、意味は判断できる： <i>I am very nervous for, and for the sweet people, to be very well.</i>

## パート1-Eメール

受験者 B

Dear Mrs Lake,

I think it's a great idea to have a party to celebrate the end of the school year. I prefer to do the party at school, in the classroom, because we've spend a lot of time there, and I think it would be better, so that we can remember all the good things that have made this year so special. I think we could bring some games like domino, or one of us can bring his Play Station and we can play together. If you want, I will buy some pizza, and also something to drink like coca-cola or water. The other students will bring some potatoes, and the girls will make a cake. Do you like the idea?

See you!

## 採点官のコメント

サブスケール	得点	評価
コンテンツ (内容)	5	内容はすべてタスクに関係している。 対象となる読み手に、タスク内のすべてのポイントについて論旨が十分に伝わっている。最初のポイントに対して直接的に対応しており ( <i>I think it's a great idea</i> )、どこでパーティーを開いたらよいかについて明確な希望が示されている ( <i>in the classroom</i> )。アクティビティ ( <i>some games like domino</i> )、持参すべき食べ物 ( <i>pizza, coca-cola, potatoes, cake</i> ) に関する提案がなされている。
コミュニケーションの達成度	5	親しみのある熱心な口調、一貫した言語使用域、冒頭と終わりの適切な挨拶など、Eメールの決まりを用いて、対象となる読み手の注意を逸らさず、最初に与えられた文章に対する返事として簡単な考えを伝えている ( <i>Dear Mrs Lake, If you want, Do you like the idea?, See you</i> )。提案がなされ、決断を説明する理由によって補足されている ( <i>I prefer to do the party at school ... because we've spend a lot of time there</i> )。
構成	4	文章は概ねしっかり構成されていて、一貫性もある。段落は1つのみだが、文がさまざまな接続語と接続表現 (特に指示) を使って結ばれているため、文章の流れが非常に自然である ( <i>a party, the party, at school, in the classroom, because, there, I think it would be better, so that, the good things that, this year, like, one of us, also, other students</i> )。
言語	4	トピックに適した多様な日常的な語彙が適切に使われている ( <i>remember, all the good things, special, bring some games, together, pizza</i> )。 さまざまな単純な文法形式といくつかのより複雑な文法形式を、かなり使いこなせている ( <i>we've spend a lot of time there, I think it would be better, that have made this year so special, I think we could bring ... or one of us can bring, If you want, I will buy, the girls will make a cake</i> )。 1つか2つの誤りがあるが、コミュニケーションを妨げることはない ( <i>we've spend, one of us can bring his Play Station</i> )。

パート2 - 記事

受験者 C

I love to watch comedies a lot because it makes me laugh. The comedy I love the most is the Chinese Running Man. I enjoy watching and laughing it with my family. In the show, famous actors and actresses must overcome some challenging quests, such as trading a coffee bean with someone else for something more expensive and racing in the mud to capture the flag. The storylines are very interesting and they always tickles my funny bone. Laughing out loud is great! Laughing can help us to release stress and make us feel better. It may also make us more attractive too!

採点官のコメント

サブスケール	得点	評価
コンテンツ (内容)	5	内容はすべてタスクに関係している。 対象となる読み手に、受験者が何を面白いと思うか ( <i>I love to watch comedies a lot</i> )、そして誰と一緒に笑うか ( <i>with my family</i> ) について論旨が十分伝わっており、最後のポイントは非常にうまく展開され、より広い視野が導入されている ( <i>Laughing can help us release stress</i> )。
コミュニケーションの達成度	5	個人的な情報の共有や意見の表明などの記事作成の決まりを用いて、対象となる読み手の注意を逸らさず、簡単な考えを伝えている。トピックはわかりやすく示されており ( <i>I love to watch comedies a lot because it makes me laugh</i> )、書き手の感情と笑いが社会に与える影響のバランスがうまくとれている ( <i>I enjoy watching and laughing it with my family, tickles my funny bone, Laughing out loud is great, make us feel better, It may also make us more attractive too</i> )。
構成	5	文章は概ねしっかり構成されていて、一貫性もある。さまざまな接続語といくつかの接続表現、特に反復を避けるための指示を用いて、文章全体および各文内で考えを結びつけている ( <i>because it, The comedy I love the most, it, In the show, such as, someone else for something more expensive, storylines ... and they</i> )。
言語	5	さまざまな日常的な語彙が適切に使われており、日常ではあまり使わない語彙もある ( <i>comedies, show, actors, actresses, overcome, challenging quests, trading, coffee bean, expensive, mud, capture the flag, storylines, tickles my funny bone, release stress, attractive</i> )。 さまざまな単純な文法様式とより複雑な文法形式、特に法助動詞をかなり使いこなせている ( <i>I love the most, must overcome some challenging quests, such as trading, with someone else for something more expensive, storylines are very interesting and they always, can help us to release, It may also make us more attractive</i> )。 誤りによってコミュニケーションが妨げられていない ( <i>I enjoy laughing and watching it with, they always tickles my funny bone</i> )。

## パート 2 - 記事

受験者 D

So, I laugh always and for nothing.

I find very funny when someone fall down and I laugh for bad jokes. I like to watch funnys videos to laugh.

I enjoy laughing with my family and my friend but I really enjoy laughing with my best friend.

I think it's good to laugh a lot and have humour to have a funny and good. I find important laugh with our friends to be better and have a good life.

It's for this I laugh for anything and I enjoy life like it is.

## 採点官のコメント

サブスケール	得点	評価
コンテンツ (内容)	5	内容はすべてタスクに関係している。 対象となる読み手に、受験者が面白いと思うこと ( <i>when someone fall down</i> )、誰と一緒に笑うのを楽しんでいるか ( <i>my family</i> 、 <i>my best friend</i> )、そしてなぜ笑いが重要なのか ( <i>it's good to laugh a lot</i> 、 <i>to be better and have a good life</i> ) について論旨が十分伝わっている。
コミュニケーションの達成度	3	個人的な情報の共有や意見の表明などの記事作成の決まりを概ね適切に用いて、簡単な考えを伝えている ( <i>I think it's good to laugh a lot</i> 、 <i>It's for this I laugh for anything</i> )。この記事には一般的な導入部はないが、トピックは受験者がすることに関する文によって大まかに示されている ( <i>So, I laugh always and for nothing</i> )。
構成	3	文章はつながりがあって一貫性がある。文をセクションに分けるために段落が使用されており、多くの場合各段落は1文に限定されているが、それぞれの段落で異なる考えが述べられ、文章に構成をもたらしている。いくつかの基本的な接続語と、ときおり指示代名詞などの接続表現が、考えを結びつけるために使われている ( <i>when</i> 、 <i>and</i> 、 <i>with my family and my friend but I really enjoy</i> 、 <i>It's for this</i> )。
言語	3	日常的な語彙が概ね適切に使われている ( <i>jokes</i> 、 <i>videos</i> 、 <i>enjoy</i> 、 <i>humour</i> 、 <i>important</i> ) が、一部の語彙は過度に使用されている ( <i>laugh</i> 、 <i>funny</i> 、 <i>friend</i> )。 現在時制のような単純な文法形式はかなり使いこなしているが、使われている時制はあまり多様ではない ( <i>I like to watch</i> 、 <i>I really enjoy laughing</i> 、 <i>with our friends to be better and have a good life</i> 、 <i>I enjoy life like it is</i> )。 一致や前置詞に目につく誤りがいくつかあるが、意味は判断できる ( <i>someone fall down</i> 、 <i>laugh for bad jokes</i> 、 <i>funnys videos</i> 、 <i>to have a funny and good</i> 、 <i>I laugh for anything</i> )。

パート 2 - 物語

受験者 E

Jo looked at the map and decided to go left. He wanted to go to the Karpats on foot. Jo liked to go to the rivers, forests and mountains on foot. He always took map with he. But one day he lost! Jo was very worried and scared. He was in the forest one week. He was could at night, he was very hot in the afternoon. He ate mushrooms and berries. But he found a way from the forest. And from that day he never came to the forest on foot. He always go to the rivers, forests and mountains on ships, by trains, by plantes. But he never go to the unknowns places on foot.

採点官のコメント

サブスケール	得点	評価
コンテンツ (内容)	5	物語はプロンプトから、始め、途中、終わりと続き、すべての内容が関連している。 対象となる読み手に論旨が十分伝わる。
コミュニケーションの達成度	3	物語は、概ね適切な方法でストーリーテリングの決まりに従っている。誤りや不十分な構成にもかかわらず、簡単な物語が読み手に伝わる。
構成	2	文は、限られた数の接続語で結ばれている ( <i>and</i> , <i>But</i> , <i>from that day</i> )。文の大半は短く、文と文のつながりは限られているが、物語には一貫性がある。
言語	3	日常的な語彙が概ね適切に使われている。物語に適した、日常ではあまり使わない語彙がいくつか見られる ( <i>mushrooms</i> , <i>berries</i> , <i>found a way</i> , <i>unknowns places</i> )。 <i>cold</i> の代わりに <i>could</i> 、 <i>planes</i> の代わりに <i>plantes</i> を用いた箇所を除き、スペリングの誤りは概ね混乱を引き起こしていない。  単純な文法形式 (主に単純過去形) をかなり使いこなせている。  誤りがよく目につくが、意味は判断できる。



## パート 2 - 物語

受験者 F

Jo looked at the map and decided to go left. Jo were in car with he friend, Lucy and go from city in car. Jo decide go in your car and nice day. They leave soon and take map but Jo looked at map and decided to go left so went in bad way and Lucy cry. They don't came in good way and go to the your home. When they came house nobody home so they watch tv and see film and enjoy.

## 採点官のコメント

サブスケール	得点	評価
コンテンツ (内容)	4	内容は、物語の展開を促すプロンプトに関連している。物語はプロンプトで始まり、物語の途中でプロンプトが繰り返されている。 対象となる読み手に論旨が伝わり、物語には明確な結末がある。
コミュニケーションの達成度	1	物語の筋は簡単な方法で伝えられている。形式は適切であるが、対象となる読み手が物語を追うのに努力が必要な箇所がある（例えば、代名詞の間違いがあるため）。
構成	2	文が、基本的な接続語（ <i>and</i> 、 <i>but</i> 、 <i>when</i> 、 <i>so</i> ）を使って結ばれていて、一貫性もある。
言語	2	日常的な語彙が概ね適切に使われている。 簡単な文法形式はある程度使いこなしているが、多くの誤りがあり、時として気を取られる（ <i>Jo were in car with he friend</i> 、 <i>They don't came in good way</i> 、 <i>go to the your home</i> ）。



Paper 3:

# リスニング

約 30 分

(解答の転記に + 6 分)

## タスク

パート	設問数	配点	タスクの種類	受験者に求められること
1	7	7	3つの選択肢からの多肢選択式問題	7つの短いモノログまたは会話から重要な情報を聞き取り、正しい絵を選択する。
2	6	6	3つの選択肢からの多肢選択式問題	6つの短い会話を聞き、それぞれの要点を理解する。
3	6	6	空所補充問題	モノログを聞いて6つの空所を埋める。
4	6	6	3つの選択肢からの多肢選択式問題	インタビューを聞き、意味を詳細に理解して、態度や意見を聞き取る。
合計	25	25		

# 学習者の受験準備

## 先生方へのアドバイス

リスニング問題のテキストとタスクは、B1レベルの学習者が対処することが期待される、リスニング面でのさまざまな状況を反映しています。先生方は、学習者がリスニングにおけるさまざまな状況ややり取りに触れる機会を得られるようにするとよいでしょう。

テキストには以下のような内容があります。

- 家や友人間での会話（パート1、2）
- ラジオ放送（パート1、3）
- 話の一部（パート3）
- 店でのやり取り（パート1）
- 情報提供を目的とした話やラジオ番組（パート3）
- ラジオパーソナリティによるインタビュー（パート4）
- 録音されたメッセージ（パート1、3）

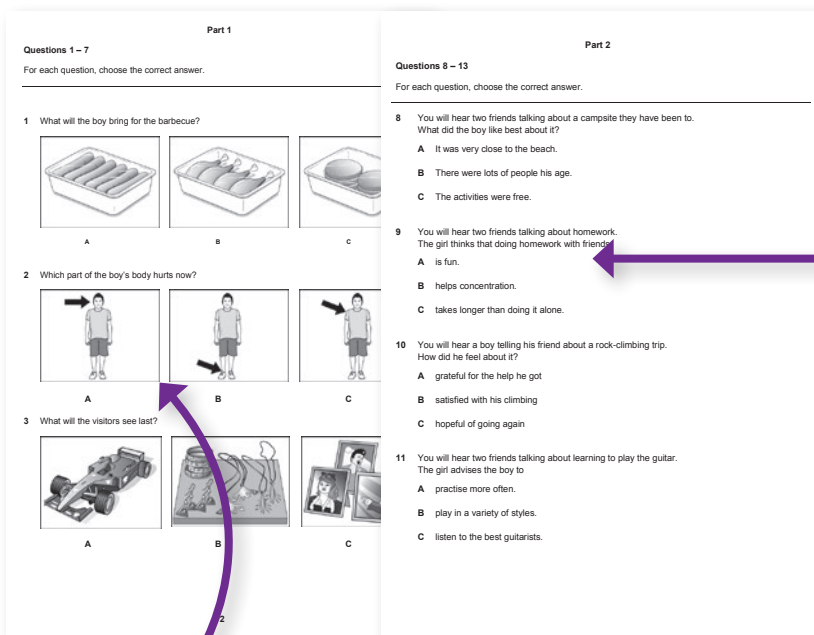
また、次の点にも注意してください。

- 音声に含まれるアクセントは、さまざまな種類の、標準的ネイティブスピーカーのもので、学習者はさまざまなアクセントを聞き取る練習をしておく必要があります。
- 先生方がリスニング教材を選択する際には、**トピックリスト**をご覧くださいと、学習者向けの適切なトピックにはどのようなものがあるのかを把握していただけます。
- また、**言語仕様**に記載されている機能、概念、コミュニケーションタスクの一覧も、学習者が取り組むさまざまなリスニングの状況を先生方が把握するのに役立つでしょう。
- ケンブリッジ英語検定ウェブサイト<sup>1</sup>に無料の教材と授業計画をご用意しています。

保護者の皆さまは、ケンブリッジ英語検定のウェブサイトにある保護者のための情報ページから詳しい情報を入手できます。

学習者の皆さんは、「受験者情報」ガイドで詳細をご覧ください。

先生方は、ケンブリッジ英語検定のウェブサイト<sup>2</sup>で、授業計画や試験問題のサンプルをご覧ください。



友人同士の会話

多肢選択式問題

## 学習者のリスニング問題対策のヒント

- ✓ 聞いている音声の内容がどのような種類のものかを認識して理解できるように学習者を手助けします。学習者は、取り組むタスクの目的も理解しなければなりません。こうした認識や理解をすることで、学習者はリスニングのタスクに対して最も適切なストラテジーをとることができるようになります。
- ✓ 教室でのディスカッション活動から、また、教師の話を書くことにより、リスニングスキルを伸ばすことができます。ただし、学習者は試験に備えて、さまざまな音声を聞かなければなりません。
- ✓ 学習者が、問題用紙に書かれている指示を読み、音声による指示を聞いて、何をしなければならないのか完全に理解できるようにさせましょう。
- ✓ 試験では、すべての音声は2回流れます。学習者に、この2回の機会を十分に活用して答えを検討するよう伝えます。
- ✓ 学習者がタスクを完了したら、音声のスクリプトを使用します。キーフレーズ、キュー、注意を逸らす要素などを見つけるための参考として役立つことができます。
- ✓ 学習者に、空白を残さないように促します。間違った答えでも減点されることはありません。実際には学習者自身が思っている以上に理解できている可能性があるため、答えを書いたかどうかを確認するよう促しましょう。
- ✓ 多様な種類のリスニング練習を行い、学習者のリスニングスキルを向上させましょう。テストだけに焦点を当てないようにします。



### 解答用紙の記入

(ペーパー版テストのみ)

- ペーパー版テストを受ける受験者は、解答用紙に答えを書き写す練習をする必要があります。
- 答えはすべて解答用紙に書かなければなりません。
- 受験者は音声を聞きながら問題用紙に答えを書きます。
- そして、テスト終了時に6分間で答えを解答用紙に書き写します。
- 解答用紙への記入には、鉛筆を使用しなければなりません。
- パート1、パート2、パート4では、マークシートの解答用マークを塗りつぶして自分の答えを示します。
- パート3では、解答用紙に答えを記入します。



### コンピューター版テストの入力

(コンピューター版テストのみ)

- 受験者は、すべての答えをコンピューター上で直接マークまたは入力します。
- 受験者はペンや鉛筆、水のボトルを試験会場に持ち込むことができますが、それ以外は持ち込めません（バッグやあらゆる電子機器を含みます）。
- 試験監督者の指示を注意して聞き、コンピューター画面上の指示に従わなければなりません。
- 受験者はテストの音声がきちんと聞こえるかを確認する必要があります。音声が聞こえない場合は、手を挙げて直ちに試験監督者に知らせます。
- テストの前に短いチュートリアルがありますので、受験者はそれを見ます。
- 試験の残り時間を示すタイマーが画面上に表示されます。
- 受験者は、解答に迷っているところに2つの選択肢を書き留めておくなど、試験中に紙にメモをとることができます。試験終了時、メモは机の上に置いていかなければなりません。

## リソースへのクイックリンク

### 保護者向け

[cambridgeenglish.org/learning-english/parents-and-children/information-for-parents](https://cambridgeenglish.org/learning-english/parents-and-children/information-for-parents)

- 保護者のための情報

### 学習者向け

[cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation](https://cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation)

- 「受験者情報」ガイド

### 教師向け

[cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation](https://cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation)

- 語彙リスト（トピックリストを含む）
- 無料の教材
- 授業計画

[cambridgeenglish.org/teaching-english/resources-for-teachers](https://cambridgeenglish.org/teaching-english/resources-for-teachers)

言語仕様:70ページ

トピックリスト:72ページ

# タスク別アドバイス

45 ページ以降のタスクをみれなく参照してください。

## リスニング パート 1




Part 1

Questions 1 – 7

For each question, choose the correct answer.




---

1 What will the boy bring for the barbecue?






ABC

2 Which part of the boy's body hurts now?



ABC

3 What will the visitors see last?



ABC

### タスク

- ▶ パート1では、7つの短い聞き取りがあり、それぞれに設問と3つの視覚イメージがあります。
- ▶ 受験者は音声を聞き、その内容に関する質問に対して最も適した答えとなる視覚イメージを選びます。

### タスクへのアプローチ方法

- ▶ 1回目の聞き取りでは、要点を聞き取り、最も適した選択肢を選ぶ必要があります。
- ▶ 2回目の聞き取りでは、音声の内容の重要な情報に焦点を当て、自分の答えが正しいかどうかを確認する必要があります。
- ▶ 残りの問題についても、このプロセスを繰り返すことが必要です。

### 評価

- ▶ このタスクでは、受験者は、音声から特定の情報を聞き取る必要があります。

## リスニング パート 2

Part 2

Questions 8 – 13

For each question, choose the correct answer.

---

8 You will hear two friends talking about a campsite they have been to. What did the boy like best about it?

A It was very close to the beach.

B There were lots of people his age.

C The activities were free.

9 You will hear two friends talking about homework. The girl thinks that doing homework with friends

A is fun.

B helps concentration.

C takes longer than doing it alone.

10 You will hear a boy telling his friend about a rock-climbing trip. How did he feel about it?

A grateful for the help he got

B satisfied with his climbing

C hopeful of going again

11 You will hear two friends talking about learning to play the guitar. The girl advises the boy to

A practise more often.

B play in a variety of styles.

C listen to the best guitarists.

### タスク

- ▶ パート2では、6つの短い対話があり、問題用紙にはそれぞれについての状況説明文が記載されています。そして、質問文、あるいは文を完成させる問題が1つ出題され、その答えとして3つの選択肢があります。
- ▶ 受験者は音声の内容を聞き、質問文に対する答えとして最も適した選択肢、あるいは、文を完成させるために最も適した選択肢を選びます。

### タスクへのアプローチ方法

- ▶ 1回目の聞き取りでは、要点を理解することに集中し、最も適した選択肢を選ぶ必要があります。
- ▶ 2回目の聞き取りで、自分の答えが正しいかどうかを確認する必要があります。
- ▶ 残りの問題についても、このプロセスを繰り返すことが必要です。

### 評価

- ▶ このタスクでは、受験者には要点を聞き取る能力が求められます。

## リスニング パート 3

## Part 3

## Questions 14 – 19

For each question, write the correct answer in the gap. Write **one or two words** or a **number** or a **date** or a **time**.

You will hear a man called Phil Lamb telling a group of students about his work as a TV news presenter

## TV news presenter

Phil's first job after university was on local (14) .....

Before presenting the news, Phil looks through the day's (15) .....

Phil says that he's very careful about which (16) ....., he wears.

Phil sometimes finds the names of some (17) ..... difficult to say correctly.

Phil enjoys presenting news on the topic of (18) .....

Phil would like to be a (19) ..... in the future.

## タスク

- ▶ 問題用紙には、音声の内容を要約したメモや文章が記載されており、その中の 6 箇所の情報が削除された状態になっています。聞き取りをしながら、番号が振られた空所を音声内の語を用いて埋め、欠けている情報を補っていきます。
- ▶ 答えのほとんどは、1つの単語、数字、または非常に短い名詞句です。

## タスクへのアプローチ方法

- ▶ 受験者はまず指示を読み、音声による指示を聞いてから、間の時間を使ってそのページに記載されているテキストを読んで文脈について考え、これからどのような言葉や情報が聞こえてくるのかを予測します。これには、場所や出来事に関する情報や、人々がコースや旅行、休日の活動について話している様子などがあるでしょう。
- ▶ 音声内容の聞き取りには、ページ上の情報の順序が役立ちます。
- ▶ 1回目の聞き取りでは、それぞれの空所を埋める単語、数字、または非常に短い名詞句を書き留めます。答えは簡潔なものにする必要があります。
- ▶ 空所を埋めるために必要な語は音声内にあります。言葉を書き換えしようとしたり、メモ形式で書いたりしないようにします。
- ▶ 2回目の聞き取りでは、自分の答えを問題用紙のメモまたは文の空所に埋めた場合に文脈上意味をなすこと、そしてそれぞれの答えに具体的な情報が含まれていることを確認する必要があります。
- ▶ 単語のスペリングをチェックすることも重要です。スペリングは正しく書かなければなりません。

## 評価

- ▶ このタスクでは、受験者は音声から特定の情報を聞き取り、それを書き取ることを求められます。



## リスニングパート 4

### Part 4

#### Questions 20 – 25

For each question, choose the correct answer.

You will hear a radio interview with a young singer called Mandy.

- 20 Mandy started working as a DJ
- A once she could afford the equipment.
  - B after she lost her job as a nurse.
  - C when she first left school.
- 21 What does Mandy say about her singing career?
- A It started by chance.
  - B It took years of practice.
  - C It began with a song that she wrote.
- 22 What is Mandy's new song about?
- A making new friends
  - B changing your mind
  - C finding life difficult
- 23 How does Mandy feel about her new CD?
- A sure that people will like it
  - B pleased with what she's achieved
  - C sorry that it wasn't ready on time
- 24 Mandy's favourite songs are those which
- A are easy to dance to.
  - B other women have written.
  - C have interesting words.
- 25 In the future, Mandy plans to
- A learn another instrument.
  - B run her own business.
  - C work in television.

### タスク

- ▶ パート 4 では、受験者は長めの音声を聞きます。これは、インタビューになります。
- ▶ 受験者は、音声を聞きながら 6 問の多肢選択式問題に答えます。それぞれ 3 つの選択肢の中から正解を選ばなければなりません。
- ▶ 状況はさまざまで、大部分は情報提供を目的とした内容です。

### タスクへのアプローチ方法

- ▶ まず指示を読み、音声による指示を聞いてから、間の時間を使って問題文を読んで状況を考える必要があります。これには、場所や出来事、あるいは人々の生活、興味、経験に関する情報などがあるでしょう。
- ▶ 音声の意味を細部まで理解することに集中する必要があります。1 回目の聞き取りでは、要点を聞き、それぞれの設問に対して最も適した選択肢を選ぶ必要があります。
- ▶ 2 回目の聞き取りでは、詳細を理解することや、表明された態度または意見に焦点を当てて、自分の答えをすべて注意深く確認する必要があります。

### 評価

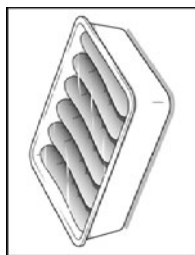
- ▶ 正解にたどり着くためには、受験者は意味を細部まで理解する必要があります。

Part 1

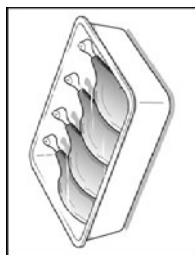
Questions 1 - 7

For each question, choose the correct answer.

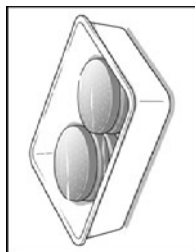
1 What will the boy bring for the barbecue?



A

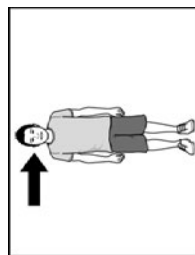


B

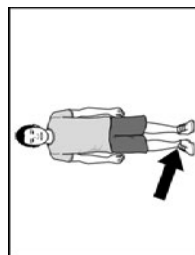


C

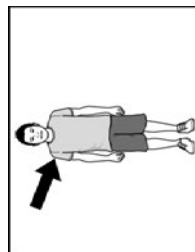
2 Which part of the boy's body hurts now?



A

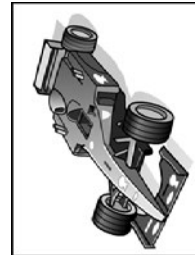


B

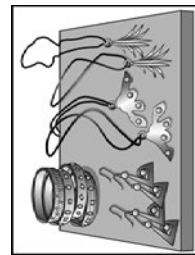


C

3 What will the visitors see last?



A



B

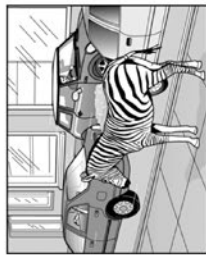


C

4 Where did the police catch the zebra?



A

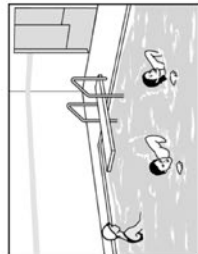


B

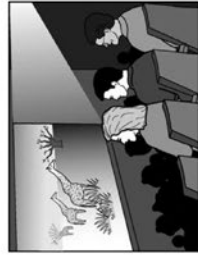


C

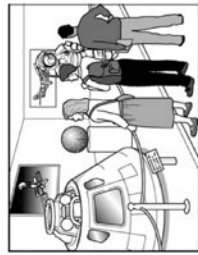
5 What did the girl do yesterday?



A

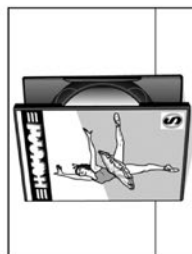


B



C

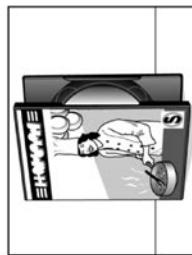
6 Which computer game does the girl like most?



A

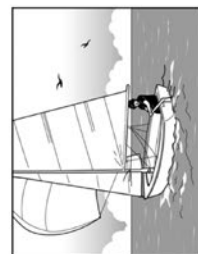


B



C

7 Which sport did the boy do for the first time on holiday?



A



B



C

2

3

Turn over ▶

**Part 2**

**Questions 8 – 13**

For each question, choose the correct answer.

- 8** You will hear two friends talking about a campsite they have been to. What did the boy like best about it?
- A** It was very close to the beach.
  - B** There were lots of people his age.
  - C** The activities were free.
- 9** You will hear two friends talking about homework. The girl thinks that doing homework with friends
- A** is fun.
  - B** helps concentration.
  - C** takes longer than doing it alone.
- 10** You will hear a boy telling his friend about a rock-climbing trip. How did he feel about it?
- A** grateful for the help he got
  - B** satisfied with his climbing
  - C** hopeful of going again
- 11** You will hear two friends talking about learning to play the guitar. The girl advises the boy to
- A** practise more often.
  - B** play in a variety of styles.
  - C** listen to the best guitarists.

**4**

- 12** You will hear two friends talking about a book they've read. They agree that it has

- A** lots of action.
- B** realistic characters.
- C** an unexpected ending.

- 13** You will hear two friends talking about a concert they have been to. They agree that

- A** the organisation was poor.
- B** the performance was good.
- C** the tickets were expensive.

**5**

**Turn over ►**

## Part 3

## Questions 14 – 19

For each question, write the correct answer in the gap. Write **one or two words** or a **number** or a **date** or a **time**.

You will hear a man called Phil Lamb telling a group of students about his work as a TV news presenter.

### TV news presenter

Phil's first job after university was on local **(14)** .....

Before presenting the news, Phil looks through the day's **(15)** .....

Phil says that he's very careful about which **(16)** ..... he wears.

Phil sometimes finds the names of some **(17)** ..... difficult to say correctly.

Phil enjoys presenting news on the topic of **(18)** .....

Phil would like to be a **(19)** ..... in the future.

6

## Part 4

## Questions 20 – 25

For each question, choose the correct answer.

You will hear a radio interview with a young singer called Mandy.

- 20 Mandy started working as a DJ
- A once she could afford the equipment.  
 B after she lost her job as a nurse.  
 C when she first left school.
- 21 What does Mandy say about her singing career?
- A It started by chance.  
 B It took years of practice.  
 C It began with a song that she wrote.
- 22 What is Mandy's new song about?
- A making new friends  
 B changing your mind  
 C finding life difficult
- 23 How does Mandy feel about her new CD?
- A sure that people will like it  
 B pleased with what she's achieved  
 C sorry that it wasn't ready on time
- 24 Mandy's favourite songs are those which
- A are easy to dance to.  
 B other women have written.  
 C have interesting words.
- 25 In the future, Mandy plans to
- A learn another instrument.  
 B run her own business.  
 C work in television.

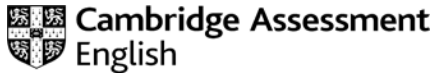
7



Draft

OFFICE USE ONLY - DO NOT WRITE OR MAKE ANY MARK ABOVE THIS LINE

Page 1 of 1



Candidate Name

Candidate Number

Centre Name

Centre Number

Examination Title

Examination Details

Candidate Signature

Assessment Date

Supervisor: If the candidate is ABSENT or has WITHDRAWN shade here

Preliminary for Schools Listening Candidate Answer Sheet

Instructions

Use a PENCIL (B or HB). Rub out any answer you want to change with an eraser.

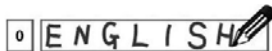
For Parts 1, 2 and 4:

Mark one letter for each answer. For example: If you think A is the right answer to the question, mark your answer sheet like this:



For Part 3:

Write your answers clearly in the spaces next to the numbers (14 to 19) like this:



Write your answers in CAPITAL LETTERS.

Part 1			
1	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Part 2			
8	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Part 3		Do not write below here
14	<input type="text"/>	14 1 0 <input type="radio"/> <input type="radio"/>
15	<input type="text"/>	15 1 0 <input type="radio"/> <input type="radio"/>
16	<input type="text"/>	16 1 0 <input type="radio"/> <input type="radio"/>
17	<input type="text"/>	17 1 0 <input type="radio"/> <input type="radio"/>
18	<input type="text"/>	18 1 0 <input type="radio"/> <input type="radio"/>
19	<input type="text"/>	19 1 0 <input type="radio"/> <input type="radio"/>

Part 4			
20	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
21	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
22	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
23	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
24	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
25	A	B	C
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

OFFICE USE ONLY - DO NOT WRITE OR MAKE ANY MARK BELOW THIS LINE

Page 1 of 1

Draft





## スクリプト

ケンブリッジ英語検定、*Preliminary English Test for Schools*、リスニング、試験問題サンプル

テストには4つのパートがあります。各パートの音声は2回流れます。

ここで音声は一旦中断します。

試験中は話をしてはいけなため、質問がある場合は今きいてください。

では、パート1の指示を見てください。

それぞれの設問に対して、正しい答えを選択してください。

問題1を見てください。

### 1: 少年はバーベキューに何を持っていくますか?

M: Hi, it's Jack. Just phoning to see if I should bring anything for the barbecue? Mum's got some chicken she says we can have.

F: Chicken's everyone's favourite, so we've got loads thanks.

M: I could bring some burgers.

F: Well, Anna's made about twenty.

M: Oh, that'll be plenty.

F: How about some sausages?

M: Hold on, I'll just look in the fridge ... ah, there aren't any left.

F: Well, don't worry. We've probably got enough here.

M: I could pick some up on my way over. It's no trouble.

F: Well if you don't mind.

M: Sure, no problem.

M: もしもし、ジャックだよ。バーベキューに何か持っていったほうがいいかどうか知りたくて電話したんだ。ママはチキンを持っていけると言っているよ。

F: チキンはみんなのお気に入りだから、たくさんあるの。ありがとう。

M: ハンバーガーを持っていけるよ。

F: ええと、アンナが20個くらい作ったのよ。

M: ああ、それで十分だね。

F: ソーセージはどうか?

M: ちょっと待って、冷蔵庫をしてみる...、ああ、もう残ってないな。

F: 心配しないで。たぶんもう十分にあるから。

M: そっちに行く途中で買うことができるよ。手間じゃないから。

F: そう?もしよければそうしてくれるかな。

M: うん、大丈夫。

それでは、もう一度聞いてください。

### 2: 今、男の子は体のどこが痛いですか?

F: How are you?

M: I was walking on the ice last week, and I wasn't really concentrating because I had a terrible headache. Anyway, I slipped and fell and I landed on my shoulder. At the time when I fell, my shoulder

really hurt but that pain soon wore off. I think maybe I damaged something a bit more serious in my ankle though. I'm going to get my ankle checked at the doctor's, because the pain still hasn't gone.

F: 調子はどう?

M: 先週氷の上を歩いてたんだけど、ひどい頭痛がしてあまり集中してなかったんだ。とにかく、滑って肩から転んだんだよ。転んだときは肩がとても痛かったけど、痛みはすぐに治まってね。もしかしたら、足首のほうをもっとひどく痛めてしまったかもしれない。痛みがまだ治まっていないから、医者足首を診てもらおうよ。

それでは、もう一度聞いてください。

### 3: 訪問者たちが最後に見るのは何ですか?

F: Now, everyone, follow me into the museum. This room is where the ancient jewellery's displayed – some fantastic pieces here – and next door are paintings of rock stars by the artist Ben Soper. We'll visit that at the end of the tour, for the talk I'm going to give you about them. But before that, I'll take you into the garden where you can have a look at the old racing car we've got there! It was generously given to us by a famous racing team when the museum was built ...

F: さあ、皆さん、私の後について博物館に入ってください。この部屋には古代のジュエリーが展示されています。すばらしいものがありますよ。隣の部屋にはアーティストのBen Soperによるロックスターの絵画があります。こちらに関しては、このツアーの最後に見に行ってお話ししますので、その前に皆さんを庭にお連れして、そこにある古いレーシングカーを見ていただきます!博物館が建てられたとき、有名なレーシングチームが気前よく提供してくれたのです...

それでは、もう一度聞いてください。

### 4: 警察はシマウマをどこで捕まえましたか?

And finally we have a story about a zebra, which escaped from the local zoo this morning. Surprised motorists saw the animal walking down the side of the road during rush hour and reported it to the police, who followed it as it walked right through a shopping centre and on down to the river. They succeeded in catching it when it stopped to eat some grass. The zebra is now back in the zoo, and doesn't seem at all worried by its trip into town and the busy traffic it saw.

最後に、今朝地元の動物園から逃げ出したシマウマのニュースです。ラッシュアワーにシマウマが道路脇を歩いているのを見て驚いたドライバーたちは、警察に通報しました。警察は、シマウマがショッピングセンターを通り、川に向かって歩いているところを追跡していきました。そして、シマウマが草を食べるために止まったとき、捕獲に成功しました。このシマウマは今、動物園に戻っており、町に行ったことやそのときの交通量の多さはまったく気にしていない様子です。

それでは、もう一度聞いてください。



5: 少女は昨日何をしましたか?

- M: Did you have a good weekend?  
F: Yes, I went out with a couple of friends yesterday.  
M: Where did you go?  
F: Well, they wanted either to see a movie or to go swimming. I said I'd rather go to the science museum, but they weren't so keen on the idea. Anyway we tried to get into the pool, but there was a big swimming competition going on there, and by that time the film had already started. So I got what I wanted in the end – and it was fun actually.
- M: 週末は楽しかった?  
F: うん、昨日は友達数人と出かけたの。  
M: どこへ行ったの?  
F: そうね、友達は映画を見るか、泳ぎに行きたいと言っていたの。わたしは科学博物館に行くほうが良いと言ったんだけど、友達はあまり乗り気ではなくて。とにかくわたしたちはプールに行こうとしたんだけど、大きな水泳競技会をやっている、それにその時にはもう映画も始まっていたのね。だから、最終的にはわたしの希望が通って、実際、楽しかったわ。

それでは、もう一度聞いてください。

6: 女の子が一番好きなコンピューターゲームは何ですか?

- F: Okay here are this week's new computer games. Dance Moves teaches you how to dance. There's a great range of moves and a great choice of four classic hits from the last five years. The only problem is knowing when to quit. Pet Project has a choice of baby zoo animals to care for. Although they're super cute, you'll quickly feel as though you've seen it all before. The last game is Cooking Star, it seems a nice choice for anyone who's passionate about food, but imaginary food has a limited attraction.
- F: はい、今週の新しいコンピューターゲームはこちらです。「Dance Moves (ダンス・ムーブ)」は、ダンスを教えてくれるゲームです。たくさん動き(ムーブ)があるし、この5年間のすばらしい曲を揃えた4つのクラシックヒット集もあります。唯一の問題は、やめるタイミングが難しいということです。「Pet Project (ペット・プロジェクト)」では、動物園の動物の赤ちゃんを選んで世話をすることができます。とてもかわいいですが、すぐに前にも見たことがあるように感じるでしょう。最後のゲームは「Cooking Star (クッキング・スター)」で、食べ物に夢中な人には良い選択のように思えますが、架空の世界の食べ物にはあまり魅力的ではありませんね。

それでは、もう一度聞いてください。

7: 休日に少年が初めて経験したスポーツは何ですか?

- F: Hi Pat, how was the holiday at the watersports centre? Did you do lots of sailing?  
M: I did yeah. I'm pleased I did a course last year ... it meant I could go straight out on the water. And I was able to try windsurfing too. It's actually quite easy if you've already sailed. I just had to learn how

to keep my balance.

- F: Did you do any other sports?  
M: Yeah, water skiing. My little brother was old enough to do it too this time, so he was really happy about that!  
F: Great.  
F: パット、ウォータースポーツセンターでの休日はどうだった?セーリングをたくさんした?  
M: やったよ。去年コースをとって良かったよ。おかげで、水上をまっすぐ進むことができたし、ウィンドサーフィンもやってみることができたんだ。セーリング経験があれば、かなり簡単だよ。あとはただバランスを保つ方法を学ばばいいだけだったんだ。  
F: ほかにも何かスポーツをした?  
M: うん、水上スキーを。ぼくの弟も、今回は水上スキーができる年齢だったから、とても喜んでたよ!  
F: それはよかったね。

それでは、もう一度聞いてください。

これでパート1は終わりです。

では、パート2を見てください。

それぞれの設問に対して、正しい答えを選択してください。

8: 2人の友達が、行ってきたキャンプ場について話している様子が流れます。

- M: So, how did you like the campsite?  
F: Brilliant! Thanks for telling my dad about it! It's got everything – shops, swimming pool, games room. And a beautiful beach five minutes away.  
M: I knew you'd love that. The pool's good enough for me. I had the best time ever – so much to do!  
F: When we first got there, I felt a bit lost. But then I started hanging out with loads of other teenagers.  
M: That's why I'd go back any day – in other camps you don't get that sort of crowd. I remember one where it was mostly families with little kids.  
F: I know what you mean.  
M: キャンプ場はどうだった?  
F: すばらしかったよ!パパに教えてくれてありがとう!お店、プール、ゲームルームとか、いろいろなものが揃っていたよ。それに、5分ほどのところに美しいビーチも。  
M: きっと気に入ると思った。ぼくはプールがあれば十分なんだ。今までで最高の時間を過ごしたよ。やるのがたくさんあったんだ!  
F: 最初そこに着いたとき、何をすればいいか戸惑ったの。でもそれから、他の10代の子達と遊び始めたわ。  
M: それか、また行きたい理由だよ。他のキャンプ場では、そういう子達がいらないからね。前に行ったキャンプ場では、小さな子供を連れた家族が多かったよ。  
F: わかるわ。

それでは、もう一度聞いてください。



## 9: 2人の友達が宿題について話している様子が流れます。

- M: I've got a friend who wants us to do homework together. I'm not sure it's a good idea.
- F: Well, I've tried it and it works for me, depending on the subject. But if it's something you really need to concentrate on, then you're better off on your own.
- M: I suppose it would make it less boring, having a few laughs and some jokes here and there ...
- F: That's exactly it, and you can do it in half the time it takes you on your own, because you're helping each other.
- M: 一緒に宿題をしてほしいという友達がいるんだけど、それがいい考えかどうかわからないんだ。
- F: まあ、わたしも試してみたことがあるけど、わたしの場合は科目によってはうまくいくよ。でも、本当に集中しなければならないことなら、自分1人でやったほうがいいよ。
- M: 冗談を言って笑ったりして退屈を紛らわしてくれるかな ...
- F: まさにそのとおり。それにお互いに助け合うから1人でやる時間の半分でできるよ。

それでは、もう一度聞いてください。

## 10: 少年がロッククライミングの旅について友達に話している様子が流れます。

- F: So, how did your rock-climbing trip go?
- M: It was harder than I expected. It's all very well climbing on an indoor climbing wall. I've always been pretty pleased with the way I've climbed there. But out on real rocks in the hills, it's a lot scarier. You need to have someone with you who's got a lot of experience, who can tell you what to do or give advice.
- F: I can imagine.
- M: I'm looking forward to having another try, though. But next time I'll tell whoever I'm with that I need support.
- F: それで、ロッククライミングの旅はどうだった?
- M: 思ったより大変だったよ。屋内のクライミングウォールでのクライミングは、すべてうまくいっていたんだ。ぼくはいつもそこでの自分の登り方に満足しているからね。でも、丘の本物の岩の上は、はるかに恐ろしいよ。経験豊富で、何をすべきかを教えてくれたり、アドバイスしてくれたりする人が必要だよ。
- F: そうよね。
- M: また挑戦できるのを楽しみにしているけどね。でも、次回は誰と一緒にに行くにしても、ぼくはサポートが必要だとその人たちに伝えるよ。

それでは、もう一度聞いてください。

## 11: 2人の友達がギターの練習について話している様子が流れます。

- M: Wow, it's so hard to get any better at the guitar. It feels like I'm not making any progress.

F: Well, you seem to spend a lot of time practising. I don't see how you could do much more. Don't you think it's better to focus on one type of music rather than on lots of different types?

M: I don't know. Maybe it's good to go for lots of different ones.

F: Well, anyway, you ought to pay attention to the really top players. They've been along the same path that you're on. Just notice how they do things.

M: I think I do that already really.

M: わあ、これ以上ギターをうまく弾けるようになるのは本当に難しいね。全然うまくっていかないように感じるよ。

F: そうね、ずいぶん長く練習しているよね。これ以上どうすればいいのかわからないわ。たくさんの種類の音楽よりも、1つの種類の音楽に集中するほうがいいと思わない?

M: わからないな。いろいろなものを選ぶのもいいのかもしれない。

F: そうね、とにかく、本当にトップレベルのプレイヤーに注目すべきよ。彼らもあなたと同じ道を歩んできたんだからね。彼らのやり方に注目してみなよ。

M: それはもう自分でやっていると思うんだ。

それでは、もう一度聞いてください。

## 12: 2人の友達が、読んだ本について話している様子が流れます。

M: I've just finished reading that book. It's brilliant – so much happens. It's exciting all the way through.

F: Yeah, though it does get slower in the middle, when the hero Alan is trying to decide whether to tell his mum about the baby lion he found. Alan's personality seems really true to life, and so does his mum's – like the way she reacts when he tells her all about it.

M: I know what you mean – it reminds me of my mum and me. I never thought she'd let him keep the lion though. That was a nice surprise.

F: I kind of thought that might happen actually.

M: ちょうどその本を読み終えたところだよ。すばらしかった。いろんなことが起こるんだ。最後までワクワクするよ。

F: そうね、途中、主人公のアランが見つけたライオンの赤ちゃんのことを母親に話すかどうか決めかねているところで、話がゆっくりになるけど。アランの性格は真に迫っている感じがしたし、彼の母親もそうね。彼がライオンのことをすべて話したときの彼女の反応も。

M: わかるよ。自分のママと自分を思い出すね。アランのお母さんがアランにライオンを飼っていいと言うとは思ってもみなかった。うれしい驚きだったよ。

F: わたしは、実はそうなるかもしれないと思っていたかも。

それでは、もう一度聞いてください。

13: 2人の友達が、行ってきたコンサートについて話している様子が流れます。

F: What a great concert. I listen to that band a lot, but I'd never seen them live before.

M: Me neither. But why didn't they play their greatest hits, especially if you think what we paid to get in.

F: I liked what they did, though. As for the price, it was definitely more than I'd normally be willing to pay.

M: And the organisers didn't do a very good job. It was awful waiting so long for the main act to start.

F: Don't blame the organisers. It's simply that the band hadn't arrived. There was nothing they could do about that.

F: すばらしいコンサートだったね。このバンドをよく聴くけど、生で見るのは初めてだったの。

M: ぼくもだよ。でも、なぜいろいろなヒット曲を演奏しなかったんだろう、特にぼくたちが払った入場料を考えるとね。

F: でも、私はコンサートの内容が気に入ったわ。価格については、明らかに私が普段支払ってもいいと思う金額を超えていたわね。

M: それに、主催者はあまりいい仕事をしていなかったな。メインアクトが始まるのをあんなに長く待つなんてひどかったよ。

F: 主催者を責めないで。単にバンドが到着していなかっただけよ。主催者にはどうすることもできなかったわ。

それでは、もう一度聞いてください。

これでパート2は終わりです。

では、パート3を見てください。

それぞれの設問に対して、空所に当てはまる正しい答えを記入してください。空所には、1～2語の言葉、数字、日付、時刻を記入します。では、問題14～19を見てください。解答時間は20秒です。

フィル・ラムという男性が、テレビのニュースキャスターという自身の仕事について学生たちに語っている内容が流れます。

Hi, many thanks for inviting me. I've been a TV news presenter for four years now. I did a couple of other jobs after university, first in radio in my home city and then as a journalist on a magazine. I enjoyed both jobs very much.

I present the five o'clock evening news. There's a lot of preparation to do before I start. First I get the newspapers and go through each one carefully. That way I understand what's in the news reports I have to present that day. Then I have meetings with the editor of the news programme in the TV studio.

After that I have to spend a bit of time choosing the right jacket to put on! I think it's really important, because that's what you see when I'm sitting at my desk, reading the news. But at least I don't need to worry about my trousers or my shoes as no-one gets to look at those!

What do I find particularly difficult? Well, I sometimes say things wrongly! I don't often make mistakes with the names of cities or countries, whatever the language, but it's names

of people which I sometimes find a real challenge to get exactly right!

Now, I can't choose what news to present of course! But I do have my favourite topic. I really enjoy business, so reading news about that is always interesting to me. For some of my colleagues, the most interesting subject is politics or even fashion. We're all different!

What about the future? I've been told I could make a good actor. I've never been attracted by that, though. As a teenager, I always dreamt of becoming a producer. I still think it would be exciting if I get the chance. Maybe I'll do that one day.

Now, any questions ... (fade)

こんにちは、お招きいただきありがとうございます。私は4年間テレビのニュースキャスターをしています。大学卒業後、いくつか他の仕事をしました。まず地元のラジオ局で、それから雑誌のジャーナリストとして。どちらの仕事もとても楽しかったです。

私は夕方5時のニュースを担当していますが、始める前にやるべきことがたくさんあります。まず新聞を手に入れて、ひとつひとつ丁寧に目を通します。そうすることで、その日に伝えなければならないニュースの内容がわかります。それから、テレビスタジオでニュース番組のエディターと打ち合わせをします。

その後、少し時間をかけて、どのジャケットを着るのがいいか選びます。これは非常に重要なことだと思います。なぜなら、私がデスクでニュースを読んでいるときに皆さんが目にするものだからです。でもズボンや靴は誰も見ないので、そちらのほうは気にする必要はありません。

特に難しいと思うことは何かということですね。そうですね、私はときどき間違った読み方をしてしまうんです。何語でも都市や国の名前を間違えることはあまりありませんが、人の名前を正しく読むのはときどき本当に難しいと感じます。

もちろん、どんなニュースを伝えるのかを私が選ぶことはできませんが、私にも好きなトピックがあります。私はビジネスが大好きなので、それに関するニュースを読むのはいつも面白いです。私の同僚の中には、政治やファッションが最も興味深いという人もいます。みんなそれぞれですね!

将来はどうか? いい俳優になれるとよく言われてきました。でも、私は俳優業に惹かれたことはありません。10代の頃、私はいつもプロデューサーになることを夢見ていました。今でもそのチャンスがあれば、心が躍るでしょうね。いつかそうするかもしれません。

さて、なにか質問は... (フェードアウト)

それでは、もう一度聞いてください。

これでパート3は終わりです。

では、パート4を見てください。

それぞれの設問に対して、正しい答えを選択してください。では問題20～25を見てください。解答時間は45秒です。

マンディという若い歌手のラジオインタビューが流れます。

**Int:** Hi Mandy. You started off as a successful disc jockey and now you're a singer in a great new band! When did you get your first job as a DJ?

**Mandy:** Well, when I finished school, I trained as a nurse for a year, but I wasn't very good at that. I'd always loved music, and I wanted to save

money to buy equipment, so I started looking after elderly people. As soon as I had enough, I bought what I needed. I got my first job as a disc jockey almost immediately.

**Int:** But then you started singing instead. How did that happen?

**Mandy:** Well, I'd been a disc jockey for about four years, then last year, I read about a DJ competition in Ireland and I entered. I did some live singing on stage that night and one of the judges asked me if I'd be interested in singing professionally. I was very lucky, really.

**Int:** So now you're in a band called 'Dish'. Tell us about your new record, the one that's in the shops now ...

**Mandy:** Yes. It's called 'Up and Down'. It's about a girl who is never really happy with her life. She's always up and down, wanting too much and never being satisfied. I'm not that kind of person fortunately, nor are my friends! It does have a nice ending.

**Int:** And you're working on a new CD?

**Mandy:** Yes, but we haven't finished recording that yet. There are still two more songs to do but I'm very proud of it. It's traditional rock but we've included some electronic music too to make it really unusual. I just hope the public will buy it! We think it's great!

**Int:** And what kind of music do you listen to at home?

**Mandy:** That's difficult. The music I like best has words that mean something to me, I suppose. I love dance music too, but you can't listen to it all the time and I generally prefer female artists to male, I think too. But that depends on the singer.

**Int:** And your future plans?

**Mandy:** Oh! I've got so much work to do at the moment – television performances and concerts, it's hard to plan. But I'd really like to own a nightclub one day ... somewhere great to dance, so that's my next project. One day, perhaps I'll try to learn to play the guitar – that would be nice – but I'm too busy to think about it at the moment. I can write and sing, that's what I do best.

**Int:** Well, lots of luck with your new CD and thanks for coming.

**Mandy:** You're welcome!

**インタビューー:** マンディさん、こんにちは。あなたはディスクジョッキーとして成功し、そして今では新たにすばらしいバンドで歌っていらっしゃいますね！初めてDJの仕事に就いたのはいつですか？

**マンディ:** そうですね、学校を卒業して、1年間看護師の訓練を受けましたが、あまり向いていませんでした。昔から音楽が好きで、お金をためて機材を買いたいと思っていたので、お年寄りの介護の仕事をするようになりました。十分なお金が集まったらすぐに必要なものを買って、それから

すぐに初めてディスクジョッキーの仕事に就きました。

**インタビューー:** でもそれから、あなたは歌を始めましたよね。どのような経緯で始めたのですか？

**マンディ:** 4年ほどディスクジョッキーをしていましたが、去年アイルランドで開催されるDJコンテストの記事を読んで応募しました。その夜、ステージでライブで歌ったのですが、審査員の1人にプロとして歌うことに興味はないかと聞かれました。本当にラッキーでした。

**インタビューー:** 今は「Dish」というバンドにいますね。今店頭に並んでいる新譜について教えてください ...

**マンディ:** はい。「Up and Down」というタイトルです。自分の人生に決して心から満足しない女の子についての歌です。彼女はいつも浮き沈みしていて、多くを求めすぎて決して満足することがありません。幸いなことに、私はそのような人ではありませんし、私の友達でもありませんが、最後はいいエンディングです。

**インタビューー:** 今は新しいCDにとりかかっているんですか？

**マンディ:** はい、でもまだレコーディングは終わっていません。あと2曲残っていますが、私はこのCDをととても誇らしく思っています。伝統的なロックですが、電子音楽も取り入れてありふれていない感じにしました。多くの人を買ってくれるとうれしいです！すばらしいCDだと思っています！

**インタビューー:** 家ではどんな音楽を聴きますか？

**マンディ:** 難しいですね。私が一番好きな音楽には、私にとって意味のある言葉が含まれていると思います。ダンス音楽も大好きですが、ずっと聴くことはできませんし、だいたいにおいて私は男性より女性のアーティストのほうが好きだと思います。でも、それも歌手によります。

**インタビューー:** 今後の予定は？

**マンディ:** ああ、テレビ出演やコンサートなど、やるべきことがたくさんあって、計画を立てるのが大変です。でも、いつかナイトクラブを持ちたいと思っています ... ダンスができる素敵な場所を。それが次のプロジェクトです。いつかギターに挑戦するかもしれません。それもいいですよ。でも、今は忙しくて考えられません。私は書くことも歌うこともできる。それが私の取り柄です。

**インタビューー:** 新しいCDが成功するといいですね。お越しいただきありがとうございました。

**マンディ:** こちらこそ、ありがとうございました！

それでは、もう一度聞いてください。

これでパート4は終わりです。

6分間で解答用紙に答えを記入してください。

あと1分です。

これでテストは終わりです。

# 評価

---

## 解答

Q	Part 1
1	A
2	B
3	C
4	C
5	C
6	A
7	C

Q	Part 2
8	B
9	A
10	C
11	C
12	B
13	C

Q	Part 3
14	radio
15	{news} paper(s)
16	jackets(s)
17	people
18	business
19	producer

Q	Part 4
20	A
21	A
22	C
23	B
24	C
25	B

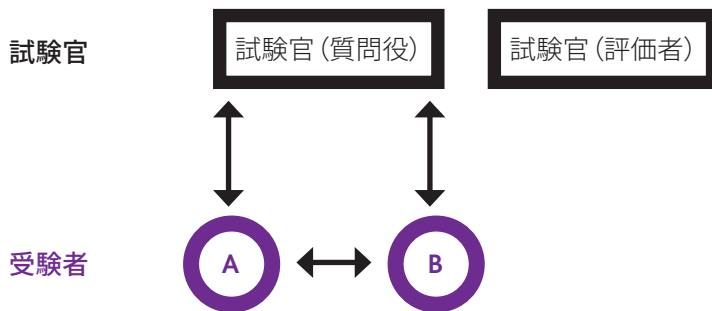
# スピーキング タスク

パート	時間	やり取り	タスクの種類	受験者に求められること
1	2分	試験官 ↓ 受験者	試験官が各受験者に順番に質問をする	質問に答え、事実に基づく情報や個人的な情報を伝える。
2	3分	受験者の長めのターン	長めのターン	1枚のカラー写真を説明し、約1分間話す。
3	4分	受験者 ↕ 受験者	視覚的刺激を伴うディスカッションタスク	提案、提案に対する応答、代替案についての話し合い、意見をまとめるための交渉を行う。
4	3分	受験者 ↕ 受験者	一般的な会話	好きなこと、嫌いなこと、経験、意見、習慣などについて話し合う。

## 学習者の受験準備

### 先生方へのアドバイス

- スピーキングテストの標準的な形式は、受験者2名と試験官2名で行うものです。
- 試験官の1名は質問役で、やり取りを進め、受験者と直接話します。質問役の試験官はタスクを設定し、受験者に指示を与えます。
- もう1名の試験官は評価者で、会話には参加せず、受験者の出来栄を評価します。



- 受験者は通常2名がペアとなり、ときに3名が1グループとなり、評価されます。受験者が3名の場合でもテスト形式に変更はありませんが、テスト時間が10～12分から15～17分に延長されます。試験官は、受験者が2名1組でも3名1組でも、各受験者が発言する機会が同じになるように訓練されています。
- 試験官は、数多くの課題の中から各セッションで用いるタスクを選択します。
- 先生方がスピーキング練習のためのトピックとリソースを選択する際には、トピックリストをご覧くださいと、学習者向けの適切なトピックにはどのようなものがあるのかを把握していただけます。
- ケンブリッジ英語検定のウェブサイト<sup>1</sup>に無料の教材と授業計画をご用意しています。

保護者の皆さまは、ケンブリッジ英語検定のウェブサイトにある保護者のための情報ページから詳しい情報を入手できます。

学習者の皆さんは、「受験者情報」ガイドで詳細をご覧ください。

先生方は、ケンブリッジ英語検定のウェブサイト<sup>1</sup>で、授業計画や試験問題のサンプルをご覧ください。



## 学習者のスピーキング問題対策のヒント

- ✓ 学習者には、さまざまな状況で、できるだけさまざまな人と英語で話す練習をさせましょう。ロールプレイングなど教室でのアクティビティを通じてシミュレーションとして行うこともできます。
- ✓ 質問の聞き取りと応答、答えを広げること、会話を続けていくことに焦点を置いて教室でのアクティビティを進めていきます。
- ✓ サンプル受験者のビデオを見て、「模擬テスト」を行い、学習者がスピーキングテストの形式に慣れることができるようにします。
- ✓ 学習者が指示を理解できなかった場合や応答が難しいと思った場合は、試験官や相手に発言内容を繰り返してもらおうようにします。通常、これによって減点されることはありません。
- ✓ 学習者に1分間、ある絵や写真について話す練習をさせましょう。それを録音して聞くことで、自分のスピーキングがどのようなものか、そして、何を改善すべきかがわかります。物事を適切に説明する方法を理解させます。
- ✓ 学習者に、試験対策の定型的な文や内容を暗記しないよう注意します。不自然に聞こえますし、尋ねられた特定の質問に対する答えにはならない可能性が高いでしょう。

### リソースへのクイックリンク

#### 保護者向け

[cambridgeenglish.org/learning-english/parents-and-children/information-for-parents](https://cambridgeenglish.org/learning-english/parents-and-children/information-for-parents)

- 保護者のための情報

#### 学習者向け

[cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation](https://cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation)

- 「受験者情報」ガイド

#### 教師向け

[cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation](https://cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation)

- 語彙リスト（トピックリストを含む）
- 無料の教材

[cambridgeenglish.org/teaching-english/resources-for-teachers](https://cambridgeenglish.org/teaching-english/resources-for-teachers)

- 授業計画

言語仕様:70ページ

トピックリスト:72ページ



# タスク別アドバイス

受験者は授業でこれらの試験対策を定期的に練習する必要があります。

62 ページ以降のタスクをもれなく参照してください。

## スピーキング パート 1

**B1 Preliminary for Schools  
Speaking Test**

**Part 1 (2–3 minutes)**

**Phase 1  
Interlocutor**

*To both candidates* Good morning/afternoon/evening.  
Can I have your mark sheets, please?

*Hand over the mark sheets to the Assessor.*  
I'm ..... and this is .....

*To Candidate A* What's your name? How old are you?  
Thank you.

*To Candidate B* And what's your name? How old are you?  
Thank you.

**Back-up prompts**

<b>B,</b> where do you live?	Do you live in <i>name of town, city or region</i> ?
Who do you live with?	Do you live with your family?
Thank you.	
<b>And A,</b> where do you live?	Do you live in <i>name of town, city or region</i> ?
Who do you live with?	Do you live with your family?
Thank you.	

### タスク

- ▶ 試験官は、各受験者との一般的な会話をリードします。
- ▶ 試験官は、受験者の個人的な情報、日常習慣、好きなことや嫌いなことなどについて質問します。
- ▶ 試験官は順番に受験者と話します。
- ▶ 受験者は試験官に直接応答します。このタスクでは、受験者同士では会話はしません。

### タスクへのアプローチ方法

- ▶ スピーキングテスト開始時に受験者が緊張するのは当然です。この会話は日常的で簡単な言葉を使っており、受験者がテストの雰囲気慣れることを目的としています。
- ▶ 受験者は質問に注意深く耳を傾け、適切な答えを返さなければなりません。
- ▶ 1語で答えることは避け、可能な限り理由や例をあげて答えを広げるよう努める必要があります。ただし、この段階ではあまり長く答えることは求められていません。

### 評価

- ▶ このパートでは、日常的な場面で自発的なコミュニケーションをとる能力を評価します。

## スピーキングパート2

Speaking Test 1	Part 2 (2-3 minutes)
<b>1A Learning a new skill</b>	
<b>Interlocutor</b>	Now I'd like each of you to talk on your own about something. I'm going to give each of you a photograph and I'd like you to talk about it.
	<b>A</b> , here is your photograph. It shows <b>someone learning how to do something</b> .
	<i>Place Part 2 booklet, open at Task 1A, in front of candidate.</i>
	<b>B</b> , you just listen.
	<b>A</b> , please tell us what you can see in the photograph.
<b>Candidate A</b>	.....
	<i>approx. 1 minute</i>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <b>Back-up prompts</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Talk about the people/person.</li> <li>• Talk about the place.</li> <li>• Talk about other things in the photograph.</li> </ul> </div>
<b>Interlocutor</b>	Thank you. (Can I have the booklet please?) <i>Retrieve Part 2 booklet.</i>
<b>1B At home after school</b>	
<b>Interlocutor</b>	<b>B</b> , here is your photograph. It shows <b>someone at home after school</b> .
	<i>Place Part 2 booklet, open at Task 1B, in front of candidate.</i>
	<b>A</b> , you just listen.
	<b>B</b> , please tell us what you can see in the photograph.
<b>Candidate B</b>	.....
	<i>approx. 1 minute</i>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <b>Back-up prompts</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Talk about the people/person.</li> <li>• Talk about the place.</li> <li>• Talk about other things in the photograph.</li> </ul> </div>
<b>Interlocutor</b>	Thank you. (Can I have the booklet please?) <i>Retrieve Part 2 booklet.</i>

## タスク

- ▶ 試験官は各受験者に順番に指示を与えます。
- ▶ 受験者は順番に、約1分間ずつ話します。
- ▶ 各受験者には1枚のカラー写真が渡され、それについて説明することが求められます。写真は、受験者の年齢層に合う日常的な状況を表現しているものです。
- ▶ 受験者は写真に写っているものを説明します。
- ▶ 終わったら、写真を試験官に返します。

## タスクへのアプローチ方法

- ▶ 受験者は説明を簡潔にとどめ、状況を推測したり、写真から読み取れるより広範な事柄について話したりするべきではありません。
- ▶ テストのこのパートを通じて、自らの語彙の豊富さを示す必要があります。
- ▶ 受験者は、写真に写っている人物や活動をできる限り詳しく説明する必要があります。写真を見ることができない人に対してどのような写真を説明していると想定するとよいでしょう。これには、すべての被写体の名前をあげること、色、衣服、時刻、天候などを描写することが含まれます。
- ▶ 受験者は、単純な接続語を使用して言葉の構成ができることを示すこともできます。
- ▶ 特定の単語を思い出せない場合でも、自分が知らない単語や思い出せない単語に対処しようとして、言い換えやその他のストラテジーを用いることができれば、評価されます。

## 評価

- ▶ テストのこのパートでは、すべての基準が評価されます。

## スピーキングパート3

### Speaking Test 1 (School visit to a capital city)

Parts 3 and 4 (6 minutes)

#### Part 3

**Interlocutor** Now, in this part of the test you're going to talk about something together for about two minutes. I'm going to describe a situation to you.

Place Part 3 booklet, open at Task 1, in front of the candidates.

Some students from a small village school are going on a trip to their capital city.

Here are some activities they could do there.

Talk together about the different activities they could do in their capital city, and say which would be most interesting.

All right? Now, talk together.

**Candidates**  
.....  
approx. 2-3 minutes

### タスク

- ▶ 試験官はタスクを設定しますが、やり取りには参加しません。
- ▶ 試験官は指示を一度読み、場面を設定し、受験者はプロンプト資料を確認します。プロンプト資料は、架空の状況について受験者が自らの考えを形成することにつながるように作られた絵のセットです。
- ▶ 受験者たちは一緒に考えを議論して、提案や提案に対する応答、代替案についての話し合い、提言、意見をまとめるための交渉を行います。
- ▶ 受験者たちは自分の考えを表明することができ、話し合ってから順番に発言し、互いの考えを引き出す必要があります。
- ▶ 試験官は、受験者がそのタスクについて話し合う時間を与えます。タスク全体で4分間与えられます。
- ▶ やり取りがうまくいかない場合、試験官は受験者たちの話の方向を変える手助けをしますが、タスク自体には参加しません。

### タスクへのアプローチ方法

- ▶ 受験者は、タスクを完了することではなく、タスクに十分に参加することに集中する必要があります。考えの内容ではなく、適切な言葉の使用ややり取りを行う際のストラテジーが評価の対象になります。
- ▶ 受験者は、相手の考えに対する意見を述べたり、質問をしたりするなどして相手に応答するとともに、議論を進める必要があります。
- ▶ 視覚的なプロンプトについてすべて議論します。あまり早く結論を出そうとしないようにします。早く結論を出してしまうと、語学力を十分に発揮する機会がなくなってしまいます。
- ▶ 結論を出す前に試験官がディスカッションを止めたとしても、割り当てられた時間が終了したからであり、受験者は心配する必要はありません。 **This is because they have filled the allocated time.** タスクを完了したかどうかは評価の対象ではありません。

### 評価

- ▶ 受験者は、考えの内容ではなく、適切な言葉の使用ややり取りを行う際のストラテジーについて評価されます。

## スピーキングパート 4

**Part 4**  
Interlocutor

Use the following questions, as appropriate:

- Would you like to have more school trips? (Where would you like to go?)
- What do you need to take when you go on a trip?
- Do you prefer to go on trips with your friends or your family? (Why?)
- What do you think is the best time of year to visit a city? (Why?)
- Which do you think is more interesting: visiting the countryside or visiting a city? (Why?)

Thank you. That is the end of the test.

Select any of the following prompts, as appropriate:

- How/what about you?
- Do you agree?
- What do you think?

## タスク

- ▶ 試験官は、受験者が議論を進めてパート3でとりあげたトピックを広げられるような質問をして、やり取りを誘導します。
- ▶ 質問は、受験者の好きなこと、嫌いなこと、習慣、意見に焦点を当てたものになります。
- ▶ 質問は、1名ずつ順番にされる場合も、両方の受験者に同時にされる場合もあります。
- ▶ 受験者は、質問に個別に答えるか、受験者同士でやり取りすることが求められます。
- ▶ このパートは全部で約3分間です。

## タスクへのアプローチ方法

- ▶ 受験者は質問に注意深く耳を傾け、答えなければなりません。
- ▶ テストのこのパートでは、自分自身の経験について話し、自分の好きなことや嫌いなことを表現し、意見を共有することが推奨されます。
- ▶ 受験者は、尋ねられた質問に十分な答えを返すことが推奨されます。それには、例えば「Why?」など、役に立つ質問の言葉を頭に置いておくとい良いでしょう。そうすることで、受験者が十分に発言することが可能になります。受験者が最小限の応答しかできなかった場合、試験官はしばしばこの質問をします。
- ▶ 受験者は、質問には正しい答えがないこと、また、自分の意見の内容ではなく、自分の考えを表現するために使う言葉で判断されることを忘れないようにしましょう。

## 評価

- ▶ テストのこのパートでは、すべての基準が評価されます。

**B1 Preliminary for Schools  
Speaking Test**

**Part 1 (2–3 minutes)**

**Phase 1  
Interlocutor**

*To both candidates*

Good morning/afternoon/evening.  
Can I have your mark sheets, please?

*Hand over the mark sheets to the Assessor.*

I'm ..... and this is .....

*To Candidate A*

What's your name? How old are you?  
Thank you.

*To Candidate B*

And what's your name? How old are you?  
Thank you.

**Back-up prompts**

**B**, where do you live?  
Do you live in *name of town, city or region*?

Who do you live with?  
Do you live with your family?

Thank you.

And **A**, where do you live?  
Do you live in *name of town, city or region*?

Who do you live with?  
Do you live with your family?

Thank you.

**Phase 2  
Interlocutor**

*Select one or more questions from the list to ask each candidate.  
Ask Candidate A first.*

**Back-up prompts**

Tell us about a teacher you like.

Which teacher do you like? (Why?)

How often do you use a mobile phone?

Do you often use a mobile phone?

How do you get to school every day?

Do you walk to school every day?

Which do you like best, the morning or the afternoon? (Why?)

Which is better, morning or afternoon? (Why?)

Thank you.

Part 2 (2–3 minutes)

Speaking Test 1

1A Learning a new skill

**Interlocutor** Now I'd like each of you to talk on your own about something. I'm going to give each of you a photograph and I'd like you to talk about it.

**A**, here is your photograph. It shows someone learning how to do something.

Place *Part 2* booklet, open at *Task 1A*, in front of candidate.

**B**, you just listen.

**A**, please tell us what you can see in the photograph.

.....

**Candidate A**

⌚ approx. 1 minute

**Back-up prompts**

- Talk about the people/person.
- Talk about the place.
- Talk about other things in the photograph.

**Interlocutor** Thank you. (Can I have the booklet please?) Retrieve *Part 2* booklet.

1B At home after school

**Interlocutor** **B**, here is your photograph. It shows someone at home after school.

Place *Part 2* booklet, open at *Task 1B*, in front of candidate.

**A**, you just listen.

**B**, please tell us what you can see in the photograph.

.....

**Candidate B**

⌚ approx. 1 minute

**Back-up prompts**

- Talk about the people/person.
- Talk about the place.
- Talk about other things in the photograph.

**Interlocutor** Thank you. (Can I have the booklet please?) Retrieve *Part 2* booklet.

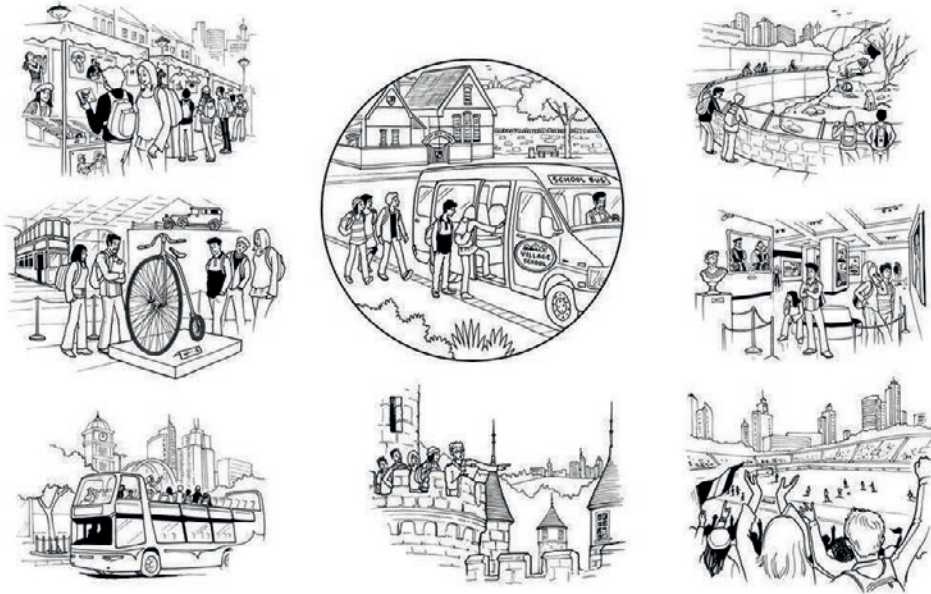
1A



1B



## A school visit to a capital city



### Speaking Test 1 (School visit to a capital city)

Parts 3 and 4 (6 minutes)

#### Part 3

##### Interlocutor

Now, in this part of the test you're going to talk about something together for about two minutes. I'm going to describe a situation to you.

Place *Part 3 booklet*, open at *Task 1*, in front of the candidates.

Some students from a small village school are going on a trip to their capital city.

Here are some activities they could do there.

Talk together about the different activities they could do in their capital city, and say which would be most interesting.

All right? Now, talk together.

##### Candidates

⌚ approx. 2–3 minutes

##### Interlocutor

Thank you. (Can I have the booklet please?) Retrieve *Part 3 booklet*.

#### Part 4

##### Interlocutor

Use the following questions, as appropriate:

- Would you like to have more school trips? (Where would you like to go?)

- What do you need to take when you go on a trip?

- Do you prefer to go on trips with your friends or your family? (Why?)

- What do you think is the best time of year to visit a city? (Why?)

- Which do you think is more interesting: visiting the countryside or visiting a city? (Why?)

Thank you. That is the end of the test.

Select any of the following prompts, as appropriate:

- How/what about you?
- Do you agree?
- What do you think?



# 評価

## 採点官および採点

スピーキングの試験官（SE）の質の保証については、チームリーダー（TL）が管理しています。TLは、試験前にすべての試験官に試験官研修、ならびに手順および評価の定期的な認証を完了させます。TLは、特定の国または地域のスピーキングテストにおいて、ケンブリッジ英語検定のプロフェッショナルな代表者であるプロフェッショナル・サポート・リーダー（PSL）に対して責任を負っています。

試験官の年次認証には、対面での面接に臨むことが含まれ、その場で評価と手順に焦点を当てて議論した後、オンライン環境でスピーキングのサンプルテストの採点を行います。試験官は毎年、関連するすべてのレベルの評価の標準化を完了しなければならず、実際の試験セッション中には定期的にモニターされます。

## 評価スケール

テストを通して、受験者は互いに相対的に評価されるのではなく、個々人の出来栄に基づいて評価されます。2人の試験官、すなわち評価者と質問役によって採点されます。評価者である試験官は、以下の基準について分析的評価スケールの出来栄記述子を適用して採点を行います。

- 文法と語彙
- 談話管理
- 発音
- 相互コミュニケーション

質問役の試験官は、全体的達成度スケールを使用して、全体的達成度の採点を行います。

B1	全体的達成度
5	多少滞りがあっても、日常的なトピックに関するコミュニケーションを行うことができる。 長い文の談話を構築するが、ときに一貫性のない発話を行い、不正確な、また不適切な使用が一部生じる。
4	Band 3 と Band 5 の特徴を共に持っている
3	日常的な状況で、滞りがあってもコミュニケーションを行うことができる。 長い発話を構築するが、十分な準備や練習をした発話を除き、複雑な言語は使用できない。
2	Band 1 と Band 3 の特徴を共に持っている
1	きわめて馴染み深い日常的な状況において、基本的な意味を伝えることができる。 非常に短い（単語または句による）発話を行い、頻繁な滞りや一時停止を伴う。
0	Band 1 に満たない出来栄

B1 Preliminary for Schools の評価は、試験のすべてのパートの出来栄に基づいており、評価スケールの関連する記述子を適用して行われます。B1 Preliminary for Schools の評価スケール（次ページに示す）は、67 ページの全体的なスピーキングスケールから抽出されたものです。

B1 Preliminary for Schools のスピーキング試験官は、67 ページの全体的なスピーキングスケールから抽出した以下の評価スケールの、より詳細なバージョンを使用します。

B1	文法と語彙	談話管理	発音	相互コミュニケーション
5	<p>基本的な文法形式を使いこなし、複雑な文法形式にもいくつか取り組んでいる。</p> <p>日常的なトピックについて話し、意見交換するのに、適切な語彙を用いることができる。</p>	<p>多少の滞りがあっても、長い文の発話ができる。</p> <p>繰り返しはあっても、発言に関連性がある。</p> <p>接続表現を一定範囲で使える。</p>	<p>発言内容が理解できる。</p> <p>イントネーションは概ね適切である。</p> <p>文と語の強勢は概ね正しい。</p> <p>個々の音声は概ね明瞭に聞き取れる。</p>	<p>適切に話し始め、適切に応答できる。</p> <p>サポートを受けることもほとんどなく、会話を進め、発展させ、交渉の末に結論に達することができる。</p>
4	Band 3 と Band 5 の特徴を共に持っている			
3	<p>基本的な文法形式を使いこなすことができる。</p> <p>日常的なトピックについて話すとき、幅広い適切な語彙を用いることができる。</p>	<p>滞りがあっても単純なフレーズ以上の発話で応答できる。</p> <p>発言にはほぼ関連性があるが、いくつか繰り返しが見られることがある。</p> <p>基本的な接続表現を使うことができている。</p>	<p>大半の発言内容が理解でき、発話・単語レベル双方において、音声の特徴をある程度操ることができる。</p>	<p>適切に話し始め、適切に応答できる。</p> <p>促されたり、サポートを受けたりすることもほとんどなく、会話を保つことができる。</p>
2	Band 1 と Band 3 の特徴を共に持っている			
1	<p>基本的な文法形式を十分使うことができる。</p> <p>日常的なトピックについて話すとき、限られた範囲でなら適切な語彙を使うことができる。</p>	<p>短いフレーズと頻繁に滞るということに特徴づけられる応答をする。</p> <p>情報を繰り返したり、トピックから逸脱したりする。</p>	<p>音声の特徴は限られた範囲でしか操ることができないが、たいいていの発言内容は理解できる。</p>	<p>滑らかさに欠けるものの、基本的な言葉のやり取りが維持できる。</p> <p>発話を促したり手助けをしたりする必要がある。</p>
0	Band 1 に満たない出来栄			

## 全体的なスピーキングスケール

CEFR レベル	文法リソース	語彙リソース	談話管理	発音	相互コミュニケーション
	<ul style="list-style-type: none"> <li>文法形式を幅広く使いこなすことができ、それらを柔軟に使用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い適切な語彙を柔軟に使用して、馴染みのない抽象的なトピックについて話し、意見を交換できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>柔軟かつ容易に、ほとんど滞ることなく、長い文の発話ができる。</li> <li>発言は関連性、一貫性があり、多様で詳細である。</li> <li>さまざまな接続表現や談話標識を十分かつ効果的に使用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(話しかける相手にとって) わかりやすい。</li> <li>音韻の特徴が、意味を伝えたがり強調したりするのに効果的に使用されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会話に自分の発言を巧みに織り込むことにより、簡単にやり取りできる。</li> <li>やり取りの範囲を広げ、交渉の結果に向けて完全かつ効果的にそれを発展させることができる。</li> </ul>
C2	<ul style="list-style-type: none"> <li>文法形式を幅広く使いこなすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い適切な語彙を使用して、馴染みのない抽象的なトピックについて意見を交換できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>容易に、ほとんど滞ることなく、長い文の発話ができる。</li> <li>発言は関連性、一貫性があり、多様である。</li> <li>さまざまな接続表現や談話標識を使用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(話しかける相手にとって) わかりやすい。</li> <li>イントネーションは適切である。</li> <li>文と語の強勢は正しい。</li> <li>個々の音声は明瞭に聞き取れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の発言者の発言に紐づけて、容易にやり取りができる。</li> <li>やり取りの範囲を広げ、交渉の末、結論に達することができる。</li> </ul>
C1	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な文法形式、そしてある程度複雑な文法形式も、かなり使いこなすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な語彙を使用して、日常的なトピックや馴染みのないトピックについて話し、意見を交換できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんど滞ることなく、長い文の発話ができる。</li> <li>発言は関連しており、考えが明確に構成されている。</li> <li>一定範囲の接続表現や談話標識を使用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(話しかける相手にとって) わかりやすい。</li> <li>イントネーションは適切である。</li> <li>文と語の強勢は正しい。</li> <li>個々の音声は明瞭に聞き取れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の発言者の発言に紐づけて、適切に話し始め、適切に応答できる。</li> <li>会話を進め、発展させ、交渉の末、結論に達することができる。</li> </ul>
<b>文法と語彙</b>					
B2	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な文法形式を使いこなし、複雑な文法形式にもいくつかり組んでいる。</li> <li>適切な語彙を使用して、ある範囲の日常的なトピックについて話し、意見を交換できる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>多少の滞りがあっても、長い文の発話ができる。</li> <li>発言は関連性があり、繰り返しはほとんどない。</li> <li>接続表現を一定範囲で使える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(話しかける相手にとって) わかりやすい。</li> <li>イントネーションは概ね適切である。</li> <li>文と語の強勢は概ね正しい。</li> <li>個々の音声は概ね明瞭に聞き取れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に話し始め、適切に応答できる。</li> <li>サポートを受けることもほとんどない。</li> <li>会話を進め、発展させ、交渉の末、結論に達することができる。</li> </ul>
B1	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な文法形式を使いこなすことができる。</li> <li>日常的なトピックについて話すとき、幅広い適切な語彙を用いることができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>滞りがあっても単純なフレーズ以上の発話で応答できる。</li> <li>発言にはほぼ関連性があるが、いくつか繰り返しが戻られることがある。</li> <li>基本的な接続表現を使うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大半の発言内容が理解でき、発話・単語レベル双方において、音声の特徴をある程度操ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に話し始め、適切に応答できる。</li> <li>促されたり、サポートを受けたりすることもほとんどなく、会話を保つことができる。</li> </ul>
A2	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な文法形式を十分使うことができる。</li> <li>適切な語彙を使用して、日常的な状況について話すことができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>音声の特徴は限られた範囲でしか操ることができないが、たいていは明瞭である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>滑らかさに欠けるものの、簡単な言葉のやり取りが維持できる。</li> <li>発話を促したり、サポートをしたりする必要はある。</li> </ul>
A1	<ul style="list-style-type: none"> <li>少数の文法形式を限られた範囲でのみ使うことができる。</li> <li>単独の単語や句の語彙を使うことができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>音声の特徴を非常に限られた範囲で操り、たいていは不明瞭である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な言葉のやり取りを維持することがかなり困難である。</li> <li>追加的に発話を促したり、サポートをしたりする必要はある。</li> </ul>

# スピーキング評価用語集

## 1. 全般

### 基本的な意味の伝達

**基本的な意味の伝達：**メッセージの構造や伝達に誤りがあるかもしれないが、聞き手にメッセージを伝えることができるという、受験者の能力。

### 状況とトピック

**日常的な状況：**受験者が日常生活の中で遭遇する状況。例えば、食事をする、情報を求める、買い物をする、友人や家族と外出する、学校や仕事に行く、レジャー活動に参加するといった状況を指します。A2 Key のタスクでは、受験者は店舗の営業時間に関する詳しい情報をやり取りすることが求められますが、これが日常的な状況の一例です。

**日常的なトピック：**受験者が何らかの知識や自身の経験を持つと予想されるトピック。B2 First のタスクでは、受験者は「休暇中に何をするのが好きか」、「いろいろな仕事をしてどのように感じるか」などについて話すことが求められますが、これが日常的なトピックの一例です。

**馴染みのないトピック：**受験者が個人的にあまり経験したことがないと予想されるトピック。C1 Advanced のタスクでは、受験者は「現代の世界の人々は自分のことしか考えていないのではないか」、「お金をたくさん持っているとかのような問題が起こるのか」などについて考えることが求められますが、これが馴染みのないトピックの一例です。

**抽象的なトピック：**具体的な状況や出来事ではなく、概念を含むトピック。C2 Proficiency のタスクでは、受験者は「文明の発展が偶然の発見や出来事にどれだけ影響を受けたか」、「文章が社会に与える影響」などについて論じることを求められますが、これが抽象的なトピックの一例です。

### 発話

**発話：**人は一般的に文を書き、発話によって話します。発話は、単語や句のように短い場合もあれば、長めのひと続きの言葉や文の場合もあります。

## 2. 文法と語彙

### 語彙の適切性

**語彙の適切性：**与えられたタスクの文脈に適合する単語や句の使用。例えば、*I'm very sensible to noise* という発話では、*sensitive* という単語を用いるべきなので *sensible* という単語は不適切です。もう1つの例としてあげられるのは、*Today's big snow makes getting around the city difficult* です。*getting around* という言葉はこの状況に適しています。ただし、*big* と *snow* は一緒に使われないため、*big snow* という表現は不適切です。*Heavy snow* が適切でしょう。

### 柔軟性

**柔軟性：**強調、文脈に応じた区別、曖昧さの排除を目的として適切な言葉を用いる受験者の能力。例としては、考えの再構築や言い換えがあげられます。

### 文法駆使力

**文法駆使力：**意図した意味を伝えるために、文法を正確かつ適切に一貫して使用する能力。

より低いレベルの言語仕様（A2 Key や B1 Preliminary の言語仕様など）が用いられる場合、受験者は、リストにあげられた形式のうち、代表的形式の最も基本的なもののみを使いこなすことができる場合もあります。

**使いこなす試み：**正確で適切な文法形式の散発的で一貫性のない使用。例えば、1つの形式を構造や意味の観点から一貫性なく使用したり、複雑な形式の一部を誤って用いたり、複雑な形式について正しく使用しているものもあれば誤って使用しているものもあるといったことです。

話し言葉でよくあるものとしては、誤った始まり、不完全な発話、省略、再構築があげられます。コミュニケーションが成り立つ場合は、そのような特徴は減点の対象になりません。

### 文法形式

**単純な文法形式：**単語、句、基本的な時制、および単純な節。

**複雑な文法形式：**より長く複雑な発話。例えば、名詞節、関係節や副詞節、従属、受動態、不定詞、動詞型、叙法形式、時制対比。

### 範囲

**範囲：**受験者が使用するさまざまな単語および文法形式。より高いレベルになると、受験者はより多様な語、定型表現、コロケーション、文法形式をより多く利用するようになります。

## 3. 談話管理

### 一貫性 (coherence) と結束性 (cohesion)

談話において**一貫性と結束性**を切り離すことは困難です。大まかに言えば、一貫性とは、聞き手が容易に理解できる明瞭で論理的なひと続きの音声指しします。結束性とは、統合され、構造的に組織化されたひと続きの音声指しします。

一貫性と結束性は、接続表現、関連する語彙、文法および談話標識の使用など、さまざまな方法で実現することができます。

**接続表現：**発話間の関係を示す単語または句。例えば、追加 (*and*, *in addition*, *moreover*)、結果 (*so*, *therefore*, *as a result*)、情報の順序 (*first*, *second*, *next*, *finally*)。

より高いレベルでは、受験者は、基本的な接続表現 (例えば、*and*, *but*, *or*, *then*, *finally*) だけでなく、より洗練された表現 (例えば、*therefore*, *moreover*, *as a result*, *in addition*, *however*, *on the other hand*) を使用して発話に結束性を持たせることができるレベルに達している必要があります。

**関連語彙：**同じ語彙セットからのいくつかの項目の使用 (例えば、*train*, *station*, *platform*, *carriage*。または、*study*, *learn*, *revise*)。

**文法表現：**基本的には指示代名詞 (例えば、*it*, *this*, *one*) や冠詞 (例えば、*There are two women in the picture. The one on the right ...*) の使用。 (*The one on the right ...*)。

**談話標識：**会話に肉付けするために主に話し言葉で使われる単語や句 (例えば、*you know*, *you see*, *actually*, *basically*, *I mean*, *well*, *anyway*, *like*)。

### 言葉の長さ／長めのひと続きの言葉・文

**言葉の長さ／長めのひと続きの言葉・文:** 受験者が発言した、タスクに適した言葉の量。長いターンのタスクでは、より長い言葉・文が必要となりますが、ディスカッションや質問への回答を伴うタスクでは、短い応答と長い応答のいずれも必要になることがあります。

### 関連性

**関連性:** タスクとまったく関係ないものではなく、タスクに関連する発言。

### 繰り返し

**繰り返し:** トピックを展開するために新しい考えを導入するのではなく、同じ考えを繰り返すこと。

## 4. 発音

**(話しかける相手にとって) わかりやすい、発言内容が理解できる**

**(話しかける相手にとって) わかりやすい、発言内容が理解できる:** 強いまたは馴染みのないアクセントで話しているとしても、EFL/ESOLの専門家でなくても一般的に理解できる発言。

### 音韻の特徴

**音韻の特徴**には、個々の音声の発音、単語と文の強勢およびイントネーションが含まれます。

**個々の音声**とは:

発音母音。例えば *cat* の /æ/ や *bed* の /e/

2つの母音が組み合わされて1つの音を形成する二重母音。例えば *host* の /aʊ/ や *hate* の /eɪ/

子音。例えば *cut* の /k/ や *fish* の /f/

**強勢:** 音節や単語を強調すること。2音節以上の単語で、1音節が他の音節よりも大きくはっきりと発音され、他の音節よりも長いため、他の音節よりも目立つもの（例えば *imPORtant*）。単語の強勢によって、単語を区別する場合があります（例えば *proTEST* と *PROtest*）。文の中では、強勢は重要な意味を示すために使われることがあります。例えば、*WHY is that one important?* と *Why is THAT one important?*

**イントネーション:** 声の上がり下がりの仕方。例えば、話し手の気分を伝えたり、意味を補足したり、新しい情報を示したりします。

## 5. 相互コミュニケーション

### やり取りの展開

**やり取りの展開:** 例えば、文章による刺激や視覚的的刺激に対して、あるいは他の受験者／試験官の発言に対して、最小限以上の応答をすることによって、あるいは、トピックをさらに発展させるよう提案や質問（例えば、*What about bringing a camera for the holiday?* または *Why's that?*）をして自発的に他の受験者を関与させることによって、会話を積極的に展開させること。

### 開始と応答

**開始:** 新しい考えを示したり、現在のトピックに新しい展開をもたらしたりすることによって、新しいターンを開始すること。

**応答:** 他の受験者または試験官の発言に返事または反応すること。

### 発言の促しとサポート

**発言の促し:** 受験者の反応やさらなる発言を促すために、試験官が発言を繰り返したり、助けとなるプロンプトやジェスチャーを使ったりするケース。

**サポート:** ある受験者が他の受験者を助けるケース（例: ディスカッションの際に探している単語を提供したり、考えを発展させるのを助けたりすること）。

### ターンと簡単な言葉のやり取り

**ターン:** 他の人が話す前までにある人が発言することすべて。

**簡単な言葉のやり取り:** 典型的には、開始と応答の形で2つのターンを含む短い会話（例えば、質問 - 回答、提案 - 同意）。



# 言語仕様

B1 Preliminary for Schools で好成績を収めるには、受験者は、日常のたいていの場面において、英語のネイティブおよび非ネイティブ両方のスピーカーと満足のいくコミュニケーションができるレベルに達している必要があります。

B1 Preliminary for Schools 試験に基づく言語仕様のリストは以下のとおりです。

## 機能、概念、コミュニケーションタスクの一覧

注：「述べる」は、以下においては話すことと書くことの両方を指すものとして使用しています。

(対面および電話で) 人に挨拶する、挨拶に応える

自己紹介をする、他者を紹介する

個人的な情報を尋ねる、伝える：氏名、年齢、住所、親族や友人の氏名等

個人的な情報を伝える書式を理解する、記入する

個人的な情報を伝える手紙を理解する、書く

教育、資格、技能を説明する

人について説明する (容姿・資質)

個人の所有物に関する質問をする、質問に答える

繰り返しや明確化を求める

言われたことを言い直す

意味と意図を確認する

他者が自分の考えを表現できるように助ける

会話をさえぎる

新しいトピックをとりあげる

トピックを変更する

トピックを再開または続行する

単語のつづりや意味を尋ねる、教える

数を数える、数を用いる

時間、曜日、日付を尋ねる、教える

定型化した手順・行動や習慣に関する情報を尋ねる、提供する

日常の行動に関する情報を記した日記や手紙を理解する、書く

人が今何をしているのかについて述べる

過去の出来事や過去の状況、最近の活動や完了した行動について述べる

単純な物語を理解する、述べる

他者の発言を報告する

未来または想像上の状況について述べる

将来の計画または意図について述べる

予測する

住居・宿泊施設 (家、アパート、部屋、家具など) を特定する、描写する

物を買う、売る (価格・寸法・数量)

食べ物や食事について述べる

天気について述べる

健康について述べる

簡単な指示に従う、簡単な指示を与える

簡単な標識や掲示を理解する

道を尋ねる、道案内をする

旅行・移動の情報を求める、提供する

場所についての簡単な情報を求める、提供する

単純な物体を特定する、描写する (形、大きさ、重量、色、目的または用途など)

比較する、違いの程度を表現する

物の操作方法について述べる

単純なプロセスを描写する

目的、原因、結果を表現する、理由を述べる

簡単な結論を出す、推奨する

単純な要求・依頼を行う、承認／拒否する

申し出や提案を行う、対応する

感謝を示す、感謝に応える

招待する、招待に対応する

助言する

警告する、禁止する

人に何かをするように説得する、頼む／指示する

義務を表現する、義務がないことを表現する

何かをする許可を求める、与える／拒否する

謝罪と釈明をする、それに応える

同意や意見の相違を表明する、相手に反対意見を述べる

賛辞を述べる

批判する、不満や苦情を述べる

同情する

好み、好きなこと、嫌いなことを表現する (特に趣味やレジャー活動について)

感覚や感情について述べる

意見を表明する、選択する

ニーズ (必要) とウォンツ (欲求) を表現する

現在と過去において、できること／できないこと (できたこと／できなかったこと) を表現する

起こりそうなこと (起こらなそうなこと) や、可能性のあること (可能性のないこと) について述べる

確実性と疑いの程度を表現する

## 文法領域の一覧

### 動詞

規則形と不規則形

### 法助動詞

*can* (能力、要求、許可)

*could* (能力、可能性、丁寧な要求)

*would* (丁寧な要求)

*will* (申し出)

*shall* (提案、申し出)

*should* (アドバイス)

*may* (可能性)

*might* (可能性)

*have (got) to* (義務)

*ought to* (義務)

*must* (義務)

*mustn't* (禁止)

*need* (必要性)

*needn't* (必要性の欠如)

*used to + 不定詞* (過去の習慣)

### 時制

現在形：状態、習慣、システム、プロセス（および進行形で使われない動詞）

現在進行形：未来の計画や活動、現在の行動

現在完了形：*just* を伴う近過去、*yet*、*already*、*never*、*ever* を伴う不定過去、*for* や *since* を伴う未完了過去

過去形：過去の出来事

過去進行形：並行的な過去の動作、過去形時制で中断された連続動作

過去完了形：物語、間接話法

*going to* を伴う未来形

現在進行形や現在形を伴う未来形

*will* や *shall* を伴う未来形：申し出、約束、予測など

*Was/were going to*

### 動詞の形態

肯定形、疑問形、否定形

命令形

動詞と形容詞の後の不定詞 (*to* を伴う場合と伴わない場合)

動詞と前置詞の後の動名詞 (-ing 形)

主語・目的語としての動名詞

受動態：現在形と過去形

法助動詞の受動態

動詞 + 目的語 + 不定詞 *give/take/send/bring/show* + 直接／間接目的語

使役 *have/get*

助動詞を伴う *so/nor*

### 複合動詞型

句動詞／前置詞を伴う動詞

### 条件文 (仮定法)

タイプ 0 : *An iron bar expands if/when you heat it.*

タイプ 1 : *If you do that again, I'll leave.*

タイプ 2 : *I would tell you the answer if I knew it.*

*If I were you, I wouldn't do that again.*

### 単純間接話法

発言、質問、命令 : *say*、*ask*、*tell*

*He said that he felt ill.*

*I asked her if I could leave.*

*No one told me what to do.*

間接疑問文 : *know*、*wonder*

*Do you know what he said?*

*I wondered what he would do next.*

### 疑問詞

*What*、*What* (+ 名詞)

*Where*、*When*

*Who*、*Whose*、*Which*

*How*、*How much*、*How many*、*How often*、*How long* など

*Why*

(一覧に含まれているすべての時制と法助動詞の疑問形を含む)

### 名詞

単数形と複数形 (規則形と不規則形)

*some* と *any* を伴う可算名詞と不可算名詞

抽象名詞

複合名詞

複合名詞句

所有格 : 's と s'

二重所有格 : *a friend of theirs*

### 代名詞

人称代名詞 (主格、目的格、所有格)

再帰代名詞と強意代名詞 : *myself* など

非人称代名詞 : *it*、*there*

指示代名詞 : *this*、*that*、*these*、*those*

数量代名詞 : *one*、*something*、*everybody* など

不定代名詞 : *some*、*any*、*something*、*one* など

関係代名詞 : *who*、*which*、*that*、*whom*、*whose*

### 限定詞

*a* + 可算名詞

*the* + 可算／不可算名詞

### 形容詞

色、大きさ、形、質、帰属する国

叙述用法、限定用法

基数と序数

所有形容詞 : *my*、*your*、*his*、*her* など

指示形容詞 : *this*、*that*、*these*、*those*



数量形容詞：*some*、*any*、*many*、*much*、*a few*、*a lot of*、*all*、*other*、*every* など

比較級と最上級表現（規則形と不規則形）：

(*not*) *as ... as*、*not ... enough to*、*too ... to*。

形容詞の順序

形容詞としての分詞

複合形容詞

## 副詞

規則形と不規則形

様態：*quickly*、*carefully* など

頻度：*often*、*never*、*twice a day* など

特定の時間：*now*、*last week* など

不特定の時間：*already*、*just*、*yet* など

程度：*very*、*too*、*rather* など

場所：*here*、*there* など

方向：*left*、*right*、*along* など

順序：*first*、*next* など

文副詞：*too*、*either* など

動詞の前、動詞の後、文末に置く副詞

比較級と最上級表現（規則形と不規則形）

## 前置詞

場所：*to*、*on*、*inside*、*next to*、*at (home)* など

時間：*at*、*on*、*in*、*during* など

方向：*to*、*into*、*out of*、*from* など

手段：*by*、*with*

その他：*like*、*as*、*due to*、*owing to* など

前置詞句：*at the beginning of*、*by means of* など

名詞や形容詞に先行する前置詞：*by car*、*for sale*、*at last* など

(i) 名詞と形容詞の後の前置詞：*advice on*、*afraid of* など、(ii)

動詞の後の前置詞：*laugh at*、*ask for* など

## 接続語

*and*、*but*、*or*、*either ... or*

*when*、*while*、*until*、*before*、*after*、*as soon as*

*where*

*because*、*since*、*as*、*for*

*so that*、*(in order) to*

*so*、*so ... that*、*such ... that*

*if*、*unless*

*although*、*while*、*whereas*

B1 Preliminary for Schools には上記以外の形式も出てくることに注意してください。ただし、それらは直接的にはテストの対象とはなりません。

## トピック

衣服

日常生活

教育

エンターテインメントおよびメディア

環境

飲食物

自由時間

健康、医学、運動

趣味やレジャー

家や家庭

言語

人物

個人的な感情、経験、意見

個人の識別

場所や建物

他者との関係

サービス

ショッピング

社会的な・社交上のやり取り

スポーツ

自然界

移動

旅行や休日

天気

## 語彙

B1 Preliminary と B1 Preliminary for Schools の試験には、英語のネイティブスピーカーが現代において日常的に用いる語彙に通常見受けられる項目が含まれます。

受験者は、国籍、趣味、好きなこと、嫌いなことなど、自分の個人的な要件に合った語彙を知っている必要があります。

B1 Preliminary と B1 Preliminary for Schools では、アメリカ式の発音、スペリング、語彙を一貫して使用することが認められています。

B1 Preliminary と B1 Preliminary for Schools に出てくる語彙のリストは、ケンブリッジ英語検定のウェブサイトです。

[cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation](https://www.cambridgeenglish.org/exams/preliminary-for-schools/preparation)

このリストには、B1 Preliminary および B1 Preliminary for Schools の問題用紙に出てくるすべての単語が網羅されているわけではありませんので、受験者は語彙学習の範囲をこのリストに限定するべきではありません。

## グローバルな英語

英語は国際的に広く使われています。このことを鑑みて、ケンブリッジ英語検定におけるタスクに対する受験者の応答では、コミュニケーションを妨げない限り、あらゆる種類とアクセントの英語が認められています。使用する題材や資料には、英国、北米、オーストラリアなどの英語圏の多様なアクセントやテキストを採用しています。米国およびその他の方式のスペリングは、一貫して使用されている場合には認められます。

# B1 Preliminary for Schools 用語集

## 解答用紙

受験者が答えを記入する用紙。

## 評価者

分析的な基準を用いて、受験者の出来栄えに点数をつけるスピーキングテストの試験官。

## 空所補充問題

穴埋めタスクの一種で、文から単語が削除され、受験者がその箇所に語を置かなければならない問題。

## 一貫性

一貫性のある言葉とは、よく計画された明確なものであり、すべての部分や考えがうまく調和して、1つの全体形を形成しているものである。

## 協力タスク

スピーキングテストにおいて、受験者がディスカッションに参加し、タスクセットの交渉の結果に向けて共に取り組む機会。

## 談話

記述または口頭でのコミュニケーション。

## 空所補充問題

受験者が、文字、数字、1つの単語、句、文、段落などの文字表現をテキスト内の空所に挿入する必要がある設問。答えは、受験者が考えるか、または選択肢から選ぶ。

## 要点

テキストの中心テーマまたは意味。

## コミュニケーションに影響を与える誤り

読み手が単語や句を理解するのを妨げる誤り。

## 質問役の試験官

テストを実施し、各受験者の能力を総合的に評価するスピーキングテストの試験官。

## 設問

個別の配点がされている、テスト内の各テストポイント。

## 解答

設問に対する正しい答え。

## 語彙の

「語彙」の形容詞で、語彙に関係することを意味する。

## 長いターン

スピーキングテストにおいて、受験者が一定時間途切れずに話す機会。長い談話を行うことができる。

## マークシートの解答用マーク

多肢選択式問題で自分の答えを示すために受験者が塗りつぶさなければならないマークシート上のスペース。

## 多肢選択式問題

候補となる複数の答えが受験者に示され、その中の1つだけが正しいというタスク。

## 複数マッチング問題

通常リーディングのテキストに基づいて、いくつかの質問または文章完成問題が設定されるタスク。答えは、ひとまとまりの単語または句の形式で示され、それぞれの使用回数に制限はない。

## 始まりと終わりの決まり文句

通常手紙の最初または最後に使われる、フォーマルまたはインフォーマルな表現。例えば、*Dear Maria ...*、*..With best wishes from ...*、*..Dear Mr Dakari ...*、*..Yours sincerely ...*。..

## 選択肢

多肢選択問題の答えの候補となる個々の単語。

## 言い換え

何かの意味を、それとは違う言葉を使って伝えること。

## プレテスト（事前テスト）

試験資料開発の1つの段階で、対象集団からの代表的なサンプルにより設問を用いた試験を行い、その難易度を判断する。

## プロンプト文

B1 Preliminary for Schools のライティングのパート2で、物語の開始行として与えられる完全な1文。

## 指示

「指示対象」を用いるテクニック。

## 指示対象

他の人、場所などを指す単語または用語。

## 言語使用域

文章のトーン。言語使用域は、例えば申請書がフォーマルな言語使用域で記載されるように、タスクおよび対象となる読み手に適したものとするべきである。

## 指示文

問題に答えるときに何をすべきかを受験者に伝える試験問題の指示。

## 対象となる読み手

文章の受取人として意図された人。タスクでは、対象となる読み手に与える影響がポジティブなものになるような文章を書くことが重要である。

## 頭字語

### ALTE

The Association of Language Testers in Europe (ヨーロッパ言語テスト協会)

### CEFR

Common European Framework of Reference for Languages (ヨーロッパ言語共通参照枠)

### EFL

English as a Foreign Language (外国語としての英語)

### ESOL

English for Speakers of Other Languages (英語を母国語としない人のための英語)

### UCLES

University of Cambridge Local Examinations Syndicate (ケンブリッジ大学海外試験評議会)

## 数字で見るケンブリッジ大学英語検定機構に関する事実

- 年間 700 万の試験を実施
- 世界 25,000 以上の機関で活用
- 世界 130 カ国、2,800 の認定試験センター
- 52,000 以上のプレパレーションセンター
- 1913 年以来、英語資格・検定試験を実施

# 英語学習者を サポートし、 そのスキルを 世界に証明します

B1 Preliminary  
for Schools

私たちケンブリッジ大学英語検定機構 (Cambridge Assessment English) は、ケンブリッジ大学の一部門であり、多くの方々の英語学習をお手伝いし、学習者の英語力を世界に証明しています。

ケンブリッジ大学英語検定機構にとって、英語を学ぶということは単に試験を受ける、良い成績を収めるというだけではありません。自信を持ってコミュニケーションを図り、生涯にわたり、充実した経験や機会を得ることです。

適切なサポートがあれば、外国語を学ぶ道のは楽しいものとなります。ケンブリッジ大学英語検定機構は、いつも学習者の皆さまに寄り添い、一步一步をサポートいたします。

ケンブリッジ大学英語検定機構は、WCAG 2.1 規格に適合したアクセシブルな文書を提供することを約束しています。また、常にアクセシビリティ (利用しやすさ) の向上を目指しています。問題点があった場合、またはアクセシビリティ要件を満たしていないと思われる場合は、当機構にお問い合わせください。 [BrandAdmin.C@cambridgeenglish.org](mailto:BrandAdmin.C@cambridgeenglish.org)  
この文書が別の形式で必要な場合は、お名前、E メールアドレス、要件を **ご連絡ください**。15 営業日以内に回答いたします。すべての内容は 2021 年 7 月の印刷時点のものです。

Cambridge Assessment English  
The Triangle Building  
Shaftesbury Road  
Cambridge  
CB2 8EA  
United Kingdom

 [cambridgeenglish.org](https://cambridgeenglish.org)

 [/cambridgeenglish](https://www.facebook.com/cambridgeenglish)

 [/cambridgeenglishtv](https://www.youtube.com/cambridgeenglishtv)

 [/cambridgeeng](https://twitter.com/cambridgeeng)

 [/cambridgeenglish](https://www.instagram.com/cambridgeenglish)

Copyright © UCLES 2021 | CER/6204/V3/JUL21

  
\* 6378212799 \*